Canon

レーザビームプリンタ

# LASER SHOT LBP-1510

## ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

# 取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

**プリンタを設置するには**
**パソコンと接続するには**
**オプション品を取り付けるには**
→ **設置ガイド**

**基本的な使いかたを知るには**
**困ったときには**
→ **ユーザーズガイド（本書）**

**プリンタドライバをインストールするには**
**印刷するには**
**添付ソフトウェアの使いかたを知るには**
→ **LIPS ソフトウェアガイド**

**操作パネルを使ってプリンタを設定するには**
→ **LIPS 機能ガイド**

## 別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

**プログラマーズマニュアル**
LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

● 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品と異なる場合があります。

このマークが付いている分冊は、付属のCD-ROMに収められているPDFマニュアルです。

# ユーザーズガイドの構成について

# 目次

## 第3章　給紙・排紙のしかた

## 第4章　日常のメンテナンス



## 第5章　困ったときには

# 第6章　付録

# 本書の読みかた

## マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 • **取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。**

注意 • **取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**

重要 • 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

メモ • 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

## キーの表記について

本書では、キー名称を以下のように表しています。

例）　操作パネル上のキー ......... [オンライン]

## 略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® operating system を Windows と表記しています。

LASER SHOT LBP-1510 を LBP-1510と表記しています。

# 電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

# 商標について

Canon、Canonロゴ、LBP、LIPS、NetSpot、PageComposerは、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery、LASER SHOT、MaxiMem、TypeWingは、キヤノン株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、Macintosh、Mac OS、TrueTypeは、米国 Apple Computer, Inc.の商標です。

IBM、PowerPCは、米国International Business Machines Corporationの商標です。

NetWare、Novellは、米国 Novell, Inc.の登録商標です。

Unixは、X/Open Company, Ltd.が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

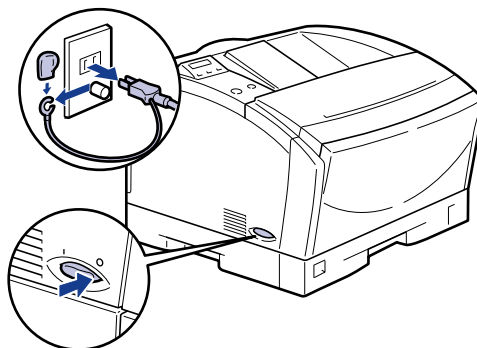
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

# 安全にお使いいただくために

## 設置について

**警告**

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の上に次のような物を置かないでください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。機器内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。

**注意**

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 機器には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると機器内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 機器を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 機器を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。機器を落としたりして、けがの原因になることがあります。（→プリンタを移動する：P.4-29 ）
- 機器を設置する場合は、機器と床面、機器と機器の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、機器の故障や感電の原因になることがあります。

## 電源について

**警告**

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱機具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]
  - ・電源コンセントのアース線端子
  - ・接地工事（D種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]
  - ・水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  - ・ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。
  - ・電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V15A以上のものを使用してください。使用時は束をほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

**注意**

- 表示された以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

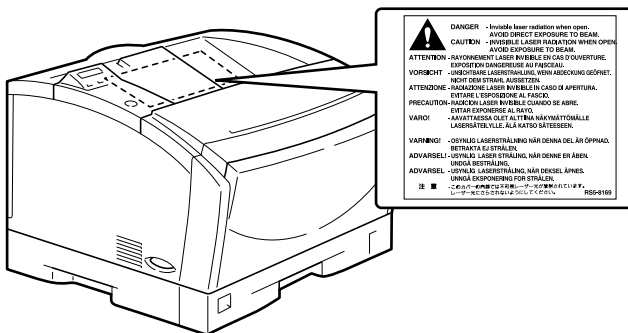
## 取り扱いについて

**警告**

- 機器を分解したり、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気製品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、機械内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。

- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 機器の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが機器内部の電気部品等に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 機器内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機器内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが機器内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源スイッチを入れた状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源スイッチを入れた状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

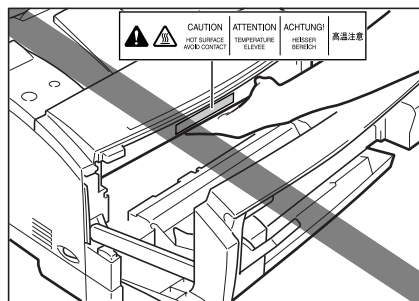
**注意**

- 機器の上に重い物を置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- メインボードや拡張ボード、RAM、ROMの取り扱いには注意してください。メインボードや拡張ボード、RAM、ROMの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切ってください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
  - ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
  - ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。
  - ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

## 保守／点検について

**警告**

- 清掃のときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で汚れを落とした後、から拭きしてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機器内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 機器内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機器内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

**注意**

- 電源プラグは年１回以上電源コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になることがあります。
- 機器内部の定着ユニット周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着ユニット周辺には触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を機器内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

## 消耗品について

**⚠ 警告**

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

**⚠ 注意**

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もし、カートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

# 原稿などを読み込む際の注意事項

以下の原稿を読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ **著作物など**

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■ **通貨、有価証券など**

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ **公文書など**

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

**[ 関係法律 ]**

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

# お使いになる前に

ここでは本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明します。

# 製品の特長

## コンパクトなパソコンレーザプリンタ

USB コネクタを標準装備し、付属の Windows & Macintosh版プリンタドライバで簡単にレーザ プリントが可能です。また、印字速度 16PPM の A3 対応プリンタながら、設置スペースを取らない軽量コンパクトボディを実現。A3、B4 サイズや A4見開きのプリントが身近になりました。

## 高速プリント

16PPM（A4横送り時）の高速エンジンに高性能 RISC プロセッサ PowerPCとスーパー・レーザショット・チップで構成された新開発の高速コントローラを搭載して超高速処理を実現しました。メモリ効率化機能「MaxiMem」、TrueType フォントを高速出力する「TypeWing」機能の強化により、快適な高速プリントを可能にしました。

## エコロジー

オフィス機器における省エネルギー化推進のための国際的なプログラムである「国際エネルギースタープログラム」の基準に適合しています。さらにスタンバイ時の消費電力を抑える「スリープモード」機能を搭載することで、低消費電力化を追求しています。また、トナーの使用量を約半分* に抑えて印刷するトナー節約モード機能を備える優れたエコロジープリンタです。

＊注 データによって異なります。

## ネットワークプリンタ

オプションのプリントサーバを装着することにより、LAN につないで複数のパソコンからプリントすることが可能です。TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk、IPX/SPXなどのプロトコルに対応しているプリントサーバがあり、Windows、Mac OSのコンピュータからプリンタを共有できます。また、ネットワーク管理ユーティリティ「NetSpot」とプリントユーティリティ「NetSpot Job Monitor」を本体標準添付。ネットワーク上での使いやすさが向上しています。

## 多彩なペーパーハンドリング

標準の給紙トレイとユニバーサルカセットに加え、オプションで250枚ペーパーフィーダを用意。最大1100枚、5種類の用紙サイズの連続自動給紙を可能にしました。また、給紙トレイは、用紙サイズもはがきから最大A3にまで対応しており、多様な用途に応じた使い方を可能にしています。

## 多機能プリンタドライバ

同梱のLIPS IVプリンタドライバでは、さまざまな設定がすぐに使える「お気に入り」メニューやオートパレット機能、オーバレイ印刷等の機能により操作性がさらに向上しました。また、複数のページを1枚の用紙にプリントする「複数ページ印刷」や、複数のプリントジョブを編集して製本プリントできる「Canon PageComposer」など、多彩なプリント機能を利用できます。

## ユーザフレンドリー

同梱ソフトウェアとして、パソコンからローカルおよびネットワーク上でプリンタの設定、管理を行えるネットワーク管理ユーティリティ「NetSpot」やプリンタの状態やプリント中の印刷ステータスを確認できる印刷ユーティリティ「NetSpot Job Monitor」を用意しました。

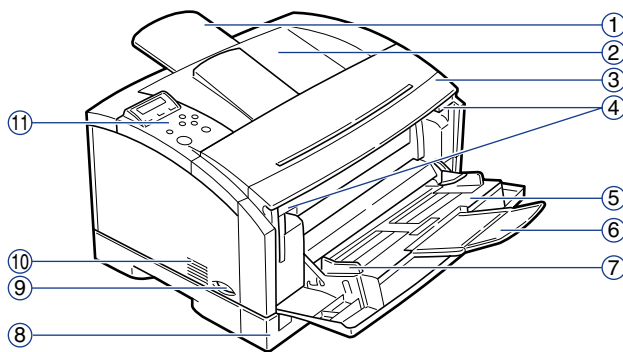
## TrueTypeフォント「FontGallery」同梱

キヤノンのTrueTypeフォントでお馴染みの「FontGallery」を同梱しました。
Windowsのみでなく Mac OSにも対応可能となり、幅広いビジネスをサポートします。
和文20書体、かな28書体、欧文100書体を標準でCD-ROMに収録しています。プリンタ内蔵の「平成明朝体W3」「平成角ゴシック体W5」フォントと組み合わせてお使いいただくことで、WYSIWYG環境を実現できます。
また、かなフォント組み替えユーティリティ「FontComposer」により、FontGalleryの各種TrueTypeフォントのかな部分（ひらがな、カタカナ、記号文字等）との組み替えが簡単に行え、より豊かな文章表現が可能です。

メモ
- 同梱のプリンタドライバや各種ユーティリティソフトウェアの対応OSについては、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

# 各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

## 本体前面

① **補助トレイ**
B4 や A3 などの大きな用紙を排紙するときは、補助トレイを引き出します。

② **フェースダウン排紙トレイ**
プリントされた用紙が下向き（フェースダウン）で排紙されます。（→ P.3-13）

③ **前カバー**
内部にトナーカートリッジがセットされています。トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときにここを引き出して作業します。（→ P.4-4 、5-6）

④ **開閉レバー**
前カバーのロックを解除します。両側を下げると、前カバーを引き出すことができます。（→ P.4-4 、5-6）

⑤ **給紙トレイ**
用紙を給紙トレイから給紙するときに、ここを開いて用紙をセットします。（→ P.3-19）

⑥ **補助トレイ**
B4 や A3 サイズなどの大きな用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。（→ P.3-20）

⑦ **用紙ガイド**
セットした用紙の両側面を固定するためのガイドです。

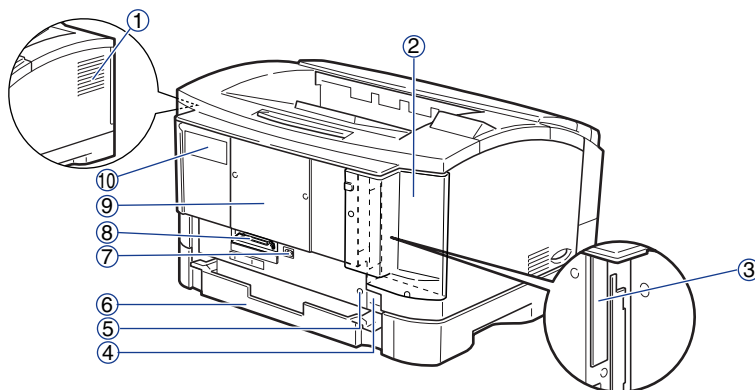
⑧ **給紙カセット**
普通紙で最大約 250 枚までの用紙をセットします。普通紙は A5 から A3 までの用紙をセットできます。また、ラベル用紙（A4）も給紙カセットにセットします。（→ P.3-14）

⑨ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン / オフします。
（→ P.2-4）

⑩ **吸気口**
本体内部冷却用ファンの吸気口です。ここを塞がないように設置してください。

⑪ **操作パネル**
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。（→ P.1-7）

メモ
- 操作パネルに貼られているフィルムは、ご使用前にはがしてください。

## 本体背面

① **排気口**

プリンタ内部冷却用ファンの排気口です。ここを塞がないように設置してください。

② **拡張ボードスロットカバー**

拡張ボードスロット部を保護するカバーです。必ず取り付けた状態でプリンタを使用してください。

③ **拡張ボードスロット**

プリントサーバなどのオプション拡張ボードをここへ取り付けます。

④ **電源コード差し込み口**

付属の電源コードをここに接続します。

⑤ **アース線端子**

市販のアース線を接続するときは、この端子に接続します。

⑥ **給紙カセット後部**

給紙カセットの後部です。絶対にここを持ってプリンタを持ち上げたりしないでください。

⑦ **USBコネクタ**

USB インタフェースケーブルの接続部です。パソコンがUSB インタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

⑧ **パラレルコネクタ**

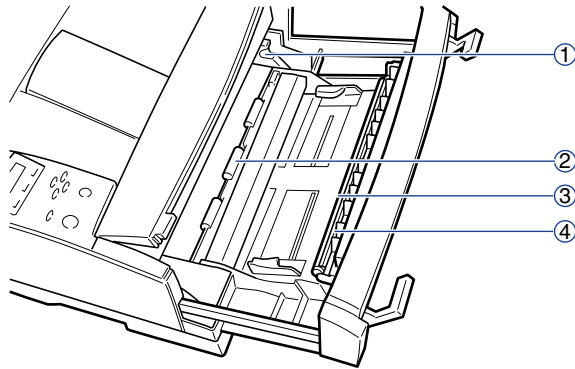
セントロニクス準拠の 8 ビットパラレルインタフェースケーブルの接続部です。パソコンのプリンタポートがパラレルインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

⑨ **スロットカバー**

RAM を取り付けるときにこのカバーを取り外します。

⑩ **定格銘板ラベル**

プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値（6.6A）は、平均消費電流です。（→ P.6-20）

## 前カバー内部

① **トナーカートリッジガイド**
トナーカートリッジをセットするとき、両端の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。

② **搬送ローラ**
プリント時に用紙を送るための重要な部品です。

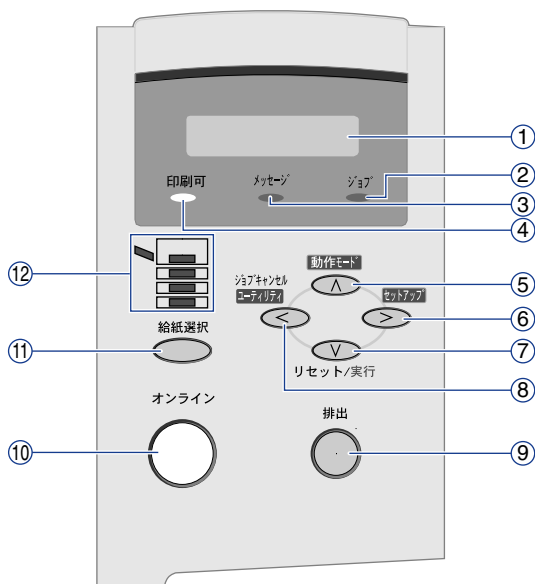
③ **転写ローラ**
プリント時にトナーを用紙に転写させる重要な部品です。

重要
- 転写ローラには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

④ **除電ユニット**
プリント時に用紙の帯電を取り除く重要な部品です。

重要
- 除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

# 操作パネル

本体前面上部の操作パネルには、上側にディスプレイと３つの表示ランプ、左側にオンラインキーと給紙選択キーおよび給紙元表示ランプ、右側に４つの操作キーと排出キーがあります。これらの表示ランプ、操作キー、ディスプレイは、それぞれ次のような働きをします。

① **ディスプレイ**

プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。複数のメッセージがあるときは、順に表示を繰り返します。

**■印刷可能な状態**

ⓐ 00 LIPS　A4 ⓑ

**■操作パネルでメニュー操作中の状態**

カクチョウ キノウ →

a. プリンタの状態や動作モードを表示します。

b. 現在選択されている給紙元を用紙サイズまたは略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。（A5縦：A5R、B5縦：B5R、A4縦：A4R、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、エグゼクティブ：EX、エグゼクティブ縦：EXR、フリー：FR、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2またはH2、洋形4号封筒：Y4、洋形2号封筒：Y2、ユーザペーパー：80～99）

② **ジョブランプ（緑色）**

点灯：
プリントデータ受信中または、プリンタのメモリにプリントデータが残っている状態。

点滅：
プリントデータを処理している状態。

消灯：
プリンタのメモリにプリントデータが何もない状態。

③ **メッセージランプ（オレンジ色）**

オレンジ色点灯：
プリンタに何かトラブルが起こってプリントできない状態。

消灯：
プリンタが正常な状態。

メモ
- オフラインでスリープモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは消灯します。

④ **印刷可ランプ（緑色）**

点灯：
プリント可能な状態。

点滅：
自己診断中または、ウォーミングアップ中。

消灯：
プリントできない状態。

メモ
- オンラインでスリープモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは消灯します。

⑤ **[動作モード]（∧）キー**

オフライン時：
動作モードメニューを表示します。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

⑥ **[セットアップ]（>）キー**

オフライン時：
セットアップメニューを表示します。（→ P.3-29）

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
メニューの右側の項目を表示します。

⑦ **[リセット／実行]（∨）キー**

オフライン時：
1秒以上押し続けると、ソフトリセットを行います。（→P.2-15）
5秒以上押し続けると、ハードリセットを行います。（→P.2-16）

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
選択中の項目を実行、または選択項目のメニュー（下の階層）へ進みます。

重要
- パソコン側でプリントをキャンセルしたときは、操作パネルでソフトリセットの操作を行い、プリンタのメモリに残っている不要なデータを消去してください。

⑧ **[ユーティリティ／ジョブキャンセル]（<）キー**

オフライン時：
ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。（→P.2-13）
ジョブランプ消灯時はユーティリティメニューを表示します。（→P.5-36）

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：
メニューの左側の項目を表示します。

### ⑨ ［排出］キー

オフライン時：
プリンタのメモリに残っているプリントデータを強制的にプリントし、ジョブを終了させます。メモリのデータを強制的にプリントしているときは、「05　ハイシチュウ」とディスプレイに表示されます。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

何らかの原因でプリントデータが途中で途切れたり、プリントが中断したりしたような場合、ジョブランプが点灯したままプリンタが停止してしまうことがあります。このようなときは［排出］を押してメモリに残っているデータを強制的にプリントします。メモリにデータが残っていない場合は、実行中のジョブを終了します（ジョブランプ消灯）。（→P.2-12）

### ⑩ ［オンライン］キー／オンラインランプ

パソコンとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。他のキーを操作するときには、このキーを押して、オフラインにします。
また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除してプリントを続行させる機能も持っています。
キー内部にオンラインランプがあり、点灯により次の状態を表示します。

点灯：
オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）。

点滅：
オンラインからオフラインへ切り替え途中の状態。自己診断中。ウォーミングアップ中。

消灯：
オフライン状態（パソコンからのプリントデータを受信せず、操作パネルのキー操作を受け付ける状態）。

重要
- エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。

プリンタがスリープモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみ点灯します。（→P.2-6）

### ⑪ ［給紙選択］キー

オフライン時：
給紙選択メニューを表示します。

オンライン時：
オンラインの状態では動作しません。

給紙選択メニュー時：
給紙元やトレイ用紙サイズの設定が順に切り替わります。
給紙選択メニューが表示されている状態で、［ユーティリティ］または［セットアップ］を押すことで、設定項目が切り替わります。

給紙元の設定値：
ジドウ→カセット1→カセット2（オプション取付時）→カセット3（オプション取付時）→カセット4（オプション取付時）→トレイ

トレイ用紙サイズの設定値：
A4→A4R→B4→A3→LT→LTR→LG→LD→EX→EXR→フリー→ユーザペーパー→ハガキ→オウフクハガキ→フウトウ Y4→フウトウ Y2→B6→A5→A5R→B5→B5R
選択されている設定値は、［リセット／実行］または［オンライン］を押すと変更されます。

給紙元の設定値は、給紙元表示ランプおよびディスプレイで確認することができます。また、トレイ用紙サイズは、ディスプレイで確認することができます。（→P.3-11）

メモ
- 給紙元の選択は、［給紙選択］を押すことでも切り替え可能です。［オンライン］を押すと、給紙元が変更されます。

### ⑫ 給紙元表示ランプ（緑色）

点灯：
現在選択されている給紙元のランプが点灯します。

点滅：
現在選択されている給紙元の用紙がない、またはカセットが装着されていない状態。

消灯：
現在選択されていない状態。オプションを含むカセットが装着されていない状態。

# プリンタの使いかた

**ここでは本プリンタの基本的な使用方法について説明します。**

# ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてください。



## Windowsの場合

Windows からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM から、プリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

メモ
- プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかた、詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

### ■ LIPS IVプリンタドライバ

Windowsアプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

### ■ NetSpot

パソコンから直接接続したプリンタやネットワークに接続したプリンタの機能を設定したり、状態を画面に表示できるプリンタユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

### ■ NetSpot Job Monitor

プリンタの状態をパソコンの画面に表示して確認できるプリンタユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

メモ
- 「NetSpot Job Monitor」は、双方向パラレルインタフェースに対応しています。「NetSpot Job Monitor」で双方向通信を行う場合は、双方向対応のインタフェースケーブルが必要です。

### ■ USBクラスドライバ

本プリンタをUSB接続で使用するために必要なソフトウェアです。お使いのOSに合ったものをインストールしてください。

## Macintoshの場合

Macintoshからプリントするときは、付属のCD-ROMからプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

●LIPS IVプリンタドライバ
アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。EtherTalk接続用プリンタドライバと USB 接続用プリンタドライバの 2 種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

●NetSpot
パソコンからプリンタの機能を設定したり、ネットワーク環境でのプリンタの管理を行うためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

メモ
- プリンタドライバやユーティリティソフトの対応 OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
- Macintosh パソコンでプリントする場合のオプション品については、「Macintoshパソコンとの接続」（→設置ガイド）をご覧ください。

## ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、本プリンタに付属のCD-ROMから、ネットワーク管理ソフトとプリンタドライバを、各クライアントパソコンにインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」やプリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。
また、NetWare® で使用する場合は、OS の設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワークOSに付属の取扱説明書やプリントサーバに付属の取扱説明書をご覧ください。

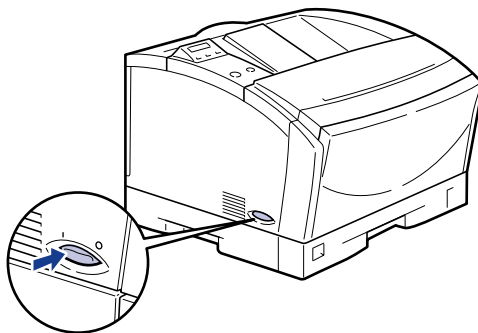
# 電源のオン、オフ

## 電源をオンにする



本プリンタは、電源をオンすると、本体やオプションの状態をチェックしてから、プリント可能な状態になります。

重要
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにしたときに、白紙が1枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

### 1 本体左側面にある電源スイッチの“ I ”側を押します。

**電源がオンになり、操作パネルのランプやディスプレイが点灯して本体やオプションの状態を自己診断します。**

自己診断の結果異常がなければ、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　LIPS」と表示されてプリント可能な状態になります。

ディスプレイには、次の情報が表示されます。

印刷可能で処理中の印刷データがない状態

現在選択されている給紙元の用紙サイズ

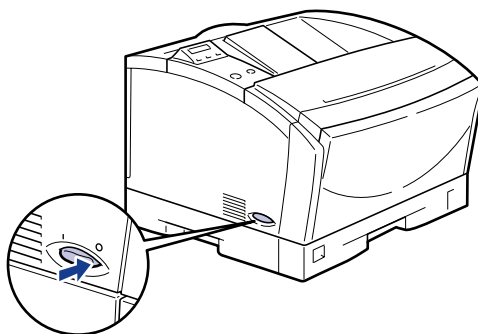
重要
- 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、「メッセージが表示されたときは」（→P.5-12）をご覧ください。

## 電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要
- ネットワークに接続している場合は、他のパソコンからプリントしていないか確認してから、電源をオフにしてください。
- ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータは消去されます。必要なプリントデータは、出力し終わるまで待つかオフラインの状態で［排出］を押し、出力してから電源をオフにしてください。（→P.2-12）
- プリント中に電源をオフにしないでください。
- プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中には、電源をオフにしないでください。
- ディスプレイにNVRAM初期化中やNVRAM書き込み中のメッセージが表示されている場合は、メッセージの表示が消えたことを確認してから、電源をオフにしてください。

**1** **ジョブランプが消灯していることを確認します。**

**2** **本体左側面にある電源スイッチの“ ○ ”側を押します。**

電源がオフになります。

# オンラインとオフライン

プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データが受け取れない状態を「オフライン」といいます。操作パネルでメニューを操作するときは、プリンタをオフラインにしてから行います。



## オンラインにする

パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。

### 1 ［オンライン］を押して、オンラインランプを点灯します。

**プリントできる状態になります。**

重要

- プリンタがエラー状態（メッセージランプ（オレンジ色）が点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。
- メニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中はオンラインになりません。操作を完了してからオンラインにしてください。
- プリント中は、絶対に本体のカバーやカセットを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

**●消費電力の節約（スリープモード）について**

本プリンタは、何も操作せず、パソコンからもデータが送られてこない状態が一定の時間続くと、消費電力を節約するスリープモードに移行します。

操作パネルのキーを操作したり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではデータを受信した場合にもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。

重要

- スリープモードに移行する時間は、工場出荷時の状態で「15分」に設定されています。この設定は、メニュー機能で「15分」、「30分」、「60分」に設定できます。詳細については、「拡張機能グループの設定項目」（→LIPS機能ガイド）をご覧ください。

メモ

- 次の場合は、設定時間が経過してもスリープモードには移行しません。
  - ・「nn-nn　サービスコール」（nnは2桁の英数字）が表示されている状態
  - ・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中

## オフラインにする

プリンタの操作パネルからメニューの操作や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などをするときは、プリンタはオフラインの状態になっていることが必要です。操作パネルのキーを使うときは、プリンタがオフラインになっていることを確認してください。オフラインになっていないときは、次の手順でオフラインにします。

### 1 ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。

**操作パネルで設定できる状態になります。**

重要

- プリンタをオフラインにしたままパソコンからプリントすると、「プリンタの準備ができていません」、「プリンタが接続されていません」などのメッセージが表示され、プリントできません。
- 本プリンタは、オフラインにしたまま5分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態（メッセージランプ（オレンジ色）が点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のとき、またはメニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。

# プリンタの機能と設定方法について

本プリンタは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷、とじ幅の設定など、いろいろな機能を持っています。これらの機能は、プリンタドライバ、NetSpot、プリンタの操作パネル、の３つの方法があり、それぞれの方法によって設定できる項目が多少異なります。

## 代表的な機能

| 機　　能 | 機能の概要 | ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾄﾞﾗｲﾊﾞ | ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ ｿﾌﾄ | 操作 ﾊﾟﾈﾙ |
|---|---|---|---|---|
| **給紙選択** | どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。 | ○ | ○ | ○ |
| **トレイ用紙サイズ** | 給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。 | × | ○ | ○ |
| **データ処理解像度**[*1] | ファインモード（600dpi）、クイックモード（300dpi）のモードを設定します。 | ○ | ○ | ○ |
| **拡大／縮小**[*2] | データを拡大または縮小してプリントします。 | ○ | ○ | × |
| **複数ページ印刷**[*3] | 拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを複数ページ並べて１枚の用紙にプリントします。 | ○ | ○ | × |
| **オーバレイプリント**[*4] | LIPSのコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。 | ○ | フォーム作成登録はLIPSコマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。 | |
| **とじ方向** | とじ代を作る辺（長辺または短辺）を設定します。 | ○ | ○ | ○ |
| **とじ幅** | とじ方向で設定された辺のとじ代の幅を設定します。 | ○ | ○ | ○ |
| **トナー濃度** | 印字濃度を調節します。 | × | ○ | ○ |
| **トナー節約** | トナーの消費量を節約するモードを設定します。 | ○ | ○ | ○ |
| **ブザー警告** | エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。 | × | ○ | ○ |
| **スリープモード** | プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。 | × | ○ | ○ |

- ○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。
- ＊1、＊2、＊3、＊4の機能は、プリンタドライバとユーティリティソフト、リモートUI、操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますのでご注意ください。詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」や「LIPS機能ガイド」、「リモートUIガイド」をご覧ください。

## 設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやユーティリティソフト、プリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

- プリンタドライバ、ユーティリティソフトのインストール方法や操作のしかたについては、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。
- プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS機能ガイド」をご覧ください。

**■ プリンタドライバ**

本プリンタに付属のLIPS IVプリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

**■ ユーティリティソフト「NetSpot」**

本プリンタに付属のユーティリティソフト「NetSpot」をパソコンにインストールし、NetSpotのプリンタ設定画面で設定します。

**■ プリンタの操作パネル**

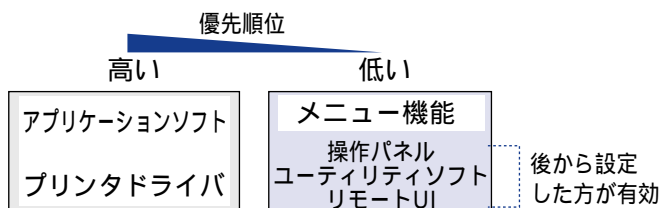
プリンタをオフラインにし、操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

## 設定の優先順位

設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。

優先順位

| 高い | 低い |
|---|---|
| アプリケーションソフト<br>プリンタドライバ | メニュー機能<br>操作パネル<br>ユーティリティソフト<br>リモートUI |

後から設定した方が有効

# プリント画質について

本プリンタは解像度を設定することによりプリント画質を変更することができます。解像度には、ファインモード、クイックモードがあり、印字のきめ細かさや濃淡の滑らかさなどを目的に応じて使い分けることができます。また、ファインモードのみ、高階調モードと標準モードの２つの階調モードを設定することができます。



## 解像度モードの種類

各解像度モードには、それぞれ次のような特長があります。

### ■ ファインモード

ファインモードは、600dpiの高解像度モードです。キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジーにより、文字や線画などの線や階調を滑らかに再現できます。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

### ■ クイックモード

クイックモードは、300dpiの解像度でプリントするモードです。Windowsの出力で高解像度モードに対応していないアプリケーションソフトなどの出力に適したモードです。データ処理が300dpiで行われ、プリント処理がさらに速くなる場合があります。

## 階調モードの種類

階調モードには、高階調モードと標準モードの２つのモードがあり、通常は標準モードで処理されますが、解像度でファインモードが設定されていて、普通紙、OHPフィルムにプリントするときのみ高階調モードを設定することができます。各モードには、それぞれ次のような特長があります。

### ■ 高階調モード

１つの点を４階調（２ビット）で処理することにより、2400dpi×600dpi相当の滑らかさでプリントするモードです。

### ■ 標準モード

1つの点を２階調（白と黒）で処理するモードです。一般的な文書や表を高速に印刷する場合に適したモードです。

## 解像度モードを設定する

### ■ Windowsからプリントする場合

解像度モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「ファイン」が選択されています。解像度モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［解像度］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

### ■ Macintoshからプリントする場合

解像度モードを指定するときは、プリンタドライバの［一般設定］ページの［品質］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

## 階調モードを設定する

### ■ Windowsからプリントする場合

階調モードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「パネル優先」が選択されています。階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［詳細設定］ボタンを押し、［グラフィックス］ページの［階調］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

### ■ Macintoshからプリントする場合

階調モードを指定するときは、プリンタドライバの［一般設定］ページの［カラー］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

# プリントを中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでにプリンタに一部データが送られている場合、プリントジョブが終わらないことがあります。そのような場合に、データを排出してプリンタ側の印刷処理を終わらせたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。



## データを排出する（強制排出）

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが 1 ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、次の手順で強制的にプリントデータを排出してください。

重要
- データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。

メモ
- プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、1ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→P.2-15）

### 1 ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。

**操作パネルで設定できる状態になります。**

### 2 ［排出］を押します。

**ディスプレイに「05 ハイシチュウ」と表示され、メモリに残っているデータがプリントされます。**

05　ハイシチュウ

メモ
- 排出途中に再度［排出］を押すと、強制排出を中止します。ただし、中止されたページのデータは消去されます。

### 3 ［オンライン］を押して、オンラインランプを点灯します。

**プリントできる状態になります。**

## プリントをキャンセルする（ジョブキャンセル）

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、「ジョブキャンセル」を行います。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

**重要**

- ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに［ジョブキャンセル］を押すと、［ユーティリティ］として動作します。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。
- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたプリントデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。

**メモ**

- ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。

### 1 ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。

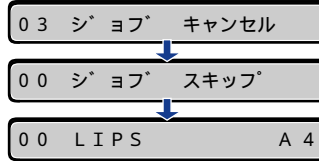
**操作パネルで設定できる状態になります。**

**メモ**

- ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイに動作モードやユーザ名、プリンタの状態などの情報が交互に表示されます。

2 プリンタの使いかた

## 2 ［ジョブキャンセル］を押します。

**「03　ジョブ　キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。**

データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00　ジョブ　スキップ」の表示に変わります。

「00　LIPS」が表示されたら、ジョブキャンセルが完了します。

重要

- 「00　ジョブ　スキップ」が表示されているときは、［リセット］を押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。
- 「03　ジョブ キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00　ジョブ　スキップ」が表示されるまでお待ちください。

## 現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフトリセット」を行います。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

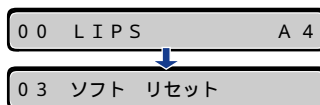
**重要**

- 必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからプリンタ側でプリント中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。
- ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。
- ジョブの保存中や排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。

### 1 [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯します。

**操作パネルで設定できる状態になります。**

### 2 [リセット]を押し続け、「03 ソフト リセット」と表示されたら離します。

**約 1 秒で表示されます。そのまま 5 秒以上押し続けると「ハードリセット」の操作になります。**

「03 ソフト リセット」の表示が消えたらリセットが完了します。

### 3 [オンライン] を押して、オンラインランプを点灯します。

**プリントできる状態になります。**

## すべての作業を中止する（ハードリセット）

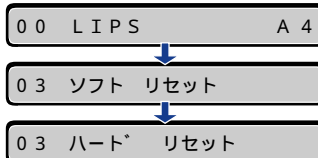
何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときは、次の操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

**重要**
- データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。
- 他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。

### 1 [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯します。

**操作パネルで設定できる状態になります。**

### 2 [リセット]を押し続け、「03 ハード リセット」と表示されたら離します。

**「03 ハード リセット」が表示されるまで（約5秒）押し続けます。5秒未満の場合は「ソフトリセット」の操作になります。**

「03 ハード リセット」の表示が消えたらリセットが完了します。

### 3 [オンライン] を押して、オンラインランプを点灯します。

**プリントできる状態になります。**

# 給紙・排紙のしかた

3
CHAPTER

ここでは、本プリンタで使用できる用紙や給紙、排紙のしかたについて説明しています。

# 用紙について

## 使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。○はプリント可能、×は不可です。

### 用紙サイズ

| 用紙の種類 | 給紙元 | | |
|---|---|---|---|
| | 給紙トレイ | 給紙カセット | 250枚ペーパーフィーダ（オプション） |
| 普通紙（64～90g/m2） | | | |
| B6*2 | ○ | × | × |
| A5 | ○ | ○*1 | ○*1 |
| A5R | ○ | × | × |
| B5 | ○ | ○*1 | ○*1 |
| B5R | ○ | × | × |
| A4 | ○ | ○ | ○ |
| A4R | ○ | ○*1 | ○*1 |
| B4*2 | ○ | ○*1 | ○*1 |
| A3*2 | ○ | ○*1 | ○*1 |
| レター | ○ | ○*1 | ○*1 |
| レター R | ○ | × | × |
| エグゼクティブ | ○ | ○*1 | ○*1 |
| エグゼクティブR | ○ | × | × |
| リーガル*2 | ○ | ○*1 | ○*1 |
| レジャー*2 | ○ | ○*1 | ○*1 |
| ユーザペーパー*2<br>幅：76.2～297mm<br>長さ：98～431.8mm | ○ | × | × |

| 厚紙（91～157g/$m^2$）<br>幅: 100～297mm<br>長さ: 98～431.8mm | ○ | × | × |
|---|---|---|---|
| OHPフィルム　A4 | ○ | × | × |
| ラベル用紙　A4 | × | ○ | ○ |
| ハガキ*2 | ○ | × | × |
| 往復ハガキ*2 | ○ | × | × |
| 封筒　洋形2号*3 | ○ | × | × |
| 封筒　洋形4号*3 | ○ | × | × |

*1　64～90g/$m^2$の普通紙のみセット可能です。
*2　縦送りのみセット可能です。
*3　封筒のふたを開いた状態で、横送りのみセット可能です。また、封筒は糊なしのもののみセット可能です。

**メモ**
- プリント速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、プリント枚数の設定により遅くなることがあります。
  ハガキ、往復ハガキ：約5ppm

## 給紙元の積載枚数

| 用紙の種類 | 給紙元 | | |
|---|---|---|---|
| | 給紙トレイ | 給紙カセット | 250枚ペーパーフィーダ（オプション） |
| 普通紙（64g/$m^2$の場合） | 約100枚*4 | 約250枚 | 約250枚 |
| 厚紙（128g/$m^2$の場合） | 約50枚 | × | × |
| OHPフィルム | 約50枚 | × | × |
| ラベル用紙 | × | *5 | *5 |
| ハガキ | 約40枚 | × | × |
| 往復ハガキ | 約40枚 | × | × |
| 封筒 | 約10枚 | × | × |

*4　A3、A4R、B4、レジャー、リーガル、エグゼクティブRの場合は、約50枚までセット可能です。
*5　温度/湿度などの条件によって積載枚数が異なります。ラベル用紙は積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。

## 排紙先の積載枚数

| 用紙の種類 | 排紙先 |
|---|---|
| | フェースダウン排紙トレイ |
| 普通紙（64g/m²の場合） | 約250枚 |
| 厚紙（128g/m²の場合） | 約150枚 |
| OHPフィルム | 約100枚 |
| ラベル用紙 | 1枚 |
| ハガキ | 約50枚 |
| 往復ハガキ | 約50枚 |
| 封筒 | 約10枚 |

重要
- 用紙の種類やサイズなど、プリント条件によってプリント速度が低下する場合があります。

## 用紙サイズの略号について

本プリンタ用給紙カセットのサイズ表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

| 用紙サイズ | 給紙カセットの用紙サイズ登録ダイヤル |
|---|---|
| レジャー | 11×17 |
| リーガル | LGL |
| レター | LTR |
| エグゼクティブ | EXEC |

## 厚紙について

本プリンタでは、91～157g/m²の厚紙が使用できます。厚紙は、必ず給紙トレイにセットしてください。

重要
- 給紙トレイに厚紙（91～157g/m²）をセットするときは、幅が100～297mm、長さが98～431.8mmの範囲の用紙をセットしてください。最大積載枚数は約50枚（128g/m²）です。
- 厚紙をプリントするときは、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を「厚紙」に設定してください。

## OHPフィルムについて

OHP フィルムは、フィルムどうしが離れにくいことがあります。1 枚ずつ四辺をよくさばいてから給紙トレイへセットしてください。

重要
- OHPフィルムは本機専用のものを使用してください。本機専用以外のOHPフィルムを使用すると、給紙不良や画質低下の原因になります。
- OHPフィルムをセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- OHP フィルムをプリントするときは、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を「OHP」に設定してください。

## ラベル用紙について

ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして給紙カセットへセットしてください。

重要
- ラベル用紙は必ず給紙カセットにセットしてください。給紙トレイにセットすると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれかけていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙
- ラベル用紙をセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- ラベル用紙にプリントするときは、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を「普通紙」に設定してください。
- ラベル用紙は、排紙されるたびに1枚ずつ取り除いてください。

## ハガキについて

ハガキは、プリント面を下にして給紙トレイへセットしてください。セット方法などの詳細は「ハガキをセットする」（→P.3-23）をご覧ください。

重要
- 官製ハガキ以外のハガキへのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- プリント可能な往復ハガキは、折り目なしのもののみです。
- ハガキがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の官製ハガキを使用することはできません。
- 官製ハガキおよび往復ハガキは横送りにはセットできません。必ず縦送りにセットしてください。
- 往復ハガキをプリントするときは、必ずプリンタドライバの［ページ設定］ページで［往復はがき］（Windows NT 4.0 ／ 2000 の場合は［往復はがき横］）を選択し、［給紙］ページの［給紙方法］を選択してから［手差し（トレイ）］を選択してください。

## 封筒について

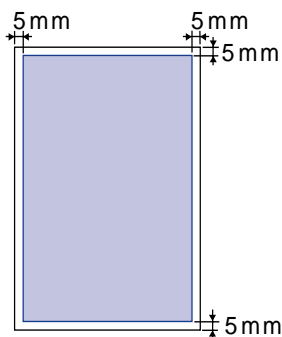
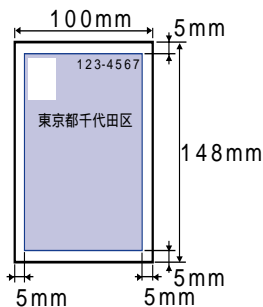
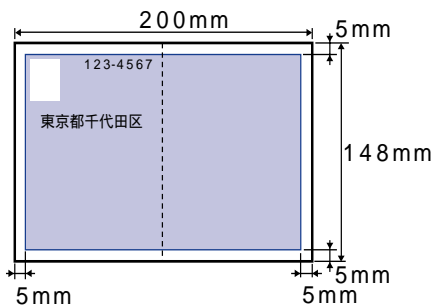
封筒は、ふたを開き、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてから、表を下にして給紙トレイへセットしてください。セット方法などの詳細は「封筒をセットする」（→P.3-26）をご覧ください。

重要

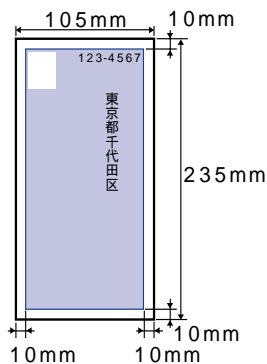
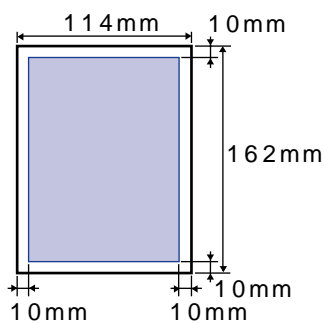
- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- 裏面にはプリントしないでください。
- 封筒は必ず横送りにセットしてください。

# プリントできる範囲

本プリンタでプリントできる領域は、次の範囲です。

■ 普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙

■ ハガキ

■ 往復ハガキ

■ 封筒

お使いのアプリケーションによっては、プリント時に位置を調整してお使いください。

洋形4号

洋形2号

## 使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ・不規則な形の用紙
  - ・湿っている用紙、濡れている用紙
  - ・破れている用紙
  - ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ・カールした用紙や折り目のある用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ・本プリンタや複写機、他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
  - ・バリのある用紙
  - ・しわのある用紙
  - ・角折れ用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ・定着ユニットの熱（約 150 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - ・感熱用紙
  - ・表面加工したカラー用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ・本プリンタや複写機、他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ・繊維の粗い用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）

## 用紙の保管について

規格に合った用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。用紙を保管するときは、次のことに注意してください。

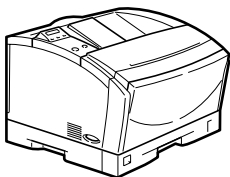
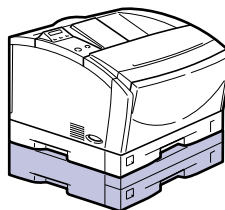
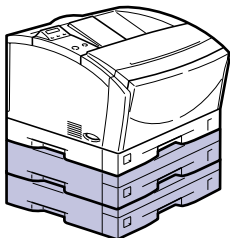
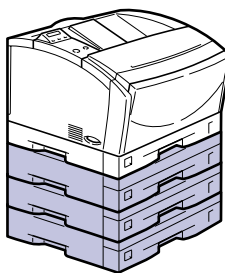
重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

# 給紙元を選択する

## 給紙元の種類

本プリンタには、本体前面に給紙トレイ、下部に給紙カセットが標準装備されており、合計約３５０枚(６４g/m²)の自動給紙が可能です。また、オプションの２５０枚ペーパーフィーダを最大３段まで取り付けると、最大約１１００枚(６４g/m²)の自動給紙が可能になります。

■ **標準状態**

■ **２５０枚ペーパーフィーダ×１段装着状態**

■ **２５０枚ペーパーフィーダ×２段装着状態**

■ **２５０枚ペーパーフィーダ×３段装着状態**

メモ
- ペーパーフィーダを４段以上取り付けることはできません。
- ペーパーフィーダは、本プリンタ用の２５０枚ペーパーフィーダPF-65をご使用ください。他機種用のペーパーフィーダを使用することはできません。

# 給紙元の選択

## WindowsやMacintoshからプリントする場合

給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

## 操作パネルで選択する場合

プリンタの操作パネルで給紙元を選択するときは、次の手順で行います。



**1 ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。**

**操作パネルで設定できる状態になります。**

**2 ［給紙選択］を押します。**

**ディスプレイに「キュウシ モード」と表示されます。**

キュウシ　モート゛

**3 ［給紙選択］を押して、給紙元を選択します。**

＝シ゛ト゛ウ →

［給紙選択］を押すたびに、使用可能な給紙元の表示がジドウ→カセット１→カセット２（オプション取付時）→カセット３（オプション取付時）→カセット４（オプション取付時）→トレイの順で変わります。

トレイ →

メモ

- オプションのペーパーフィーダが装着されていないときは、カセット2、カセット３、カセット４の給紙元表示ランプは点灯しません。
- 自動給紙選択時の給紙元表示ランプは、「トレイ優先」の設定が「シナイ」のときはカセット１が点灯し、「スル」のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は自動給紙で選択された給紙元が点灯します。
- 自動給紙選択時に、２つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプの表示に関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。

## 4 ［オンライン］を押して、オンラインランプを点灯します。

**給紙元が変更され、プリントできる状態になります。**

**ディスプレイの右側に現在選択されている給紙元の用紙サイズが表示されます。**

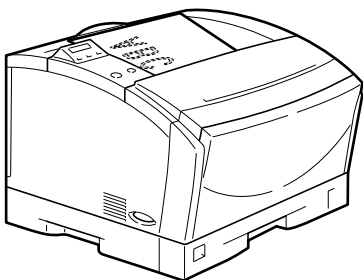
メモ

- 給紙元の選択は、［<］、［>］でも可能です。
- 給紙元の変更は、［∨］でも可能です。
- 給紙元は、［<］、［>］、［∧］、［オンライン］、［給紙選択］以外のキーを押すと、選択中の給紙元に変更されます。

# 排紙先について

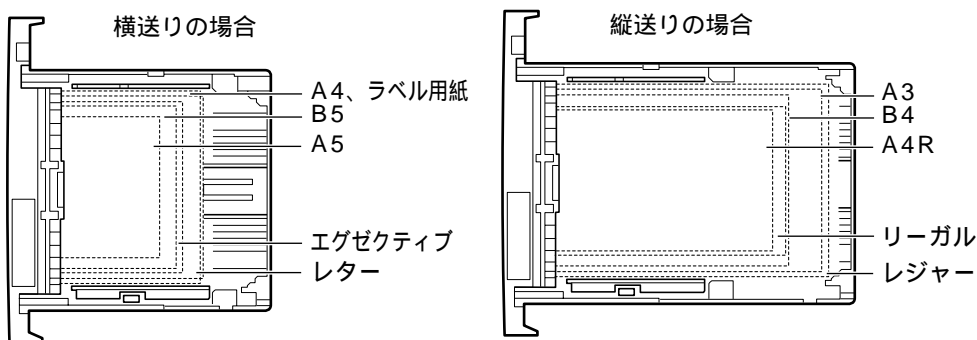
本プリンタには、次の排紙先があります。

## フェースダウン排紙トレイ

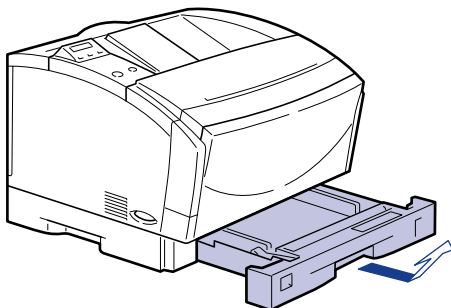
プリンタ上面にあるフェースダウン排紙トレイにプリントした面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。

重要 • ラベル用紙は、排紙されるたびに1枚ずつ取り除いてください。

# 給紙カセットからプリントする

本プリンタやペーパーフィーダ（オプション取付時）の給紙カセットには、A5、B5、A4、A4R、B4、A3、エグゼクティブ、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙（64g/m²）を約250枚までセットできます。A4サイズの用紙は通常横置きにセットしますが、縦置き（A4R）にもセットできます。また、ラベル用紙もセットできます。

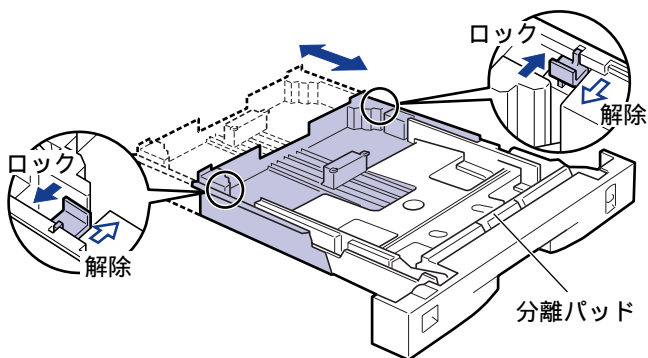
それぞれの用紙は次の手順でセットします。

重要

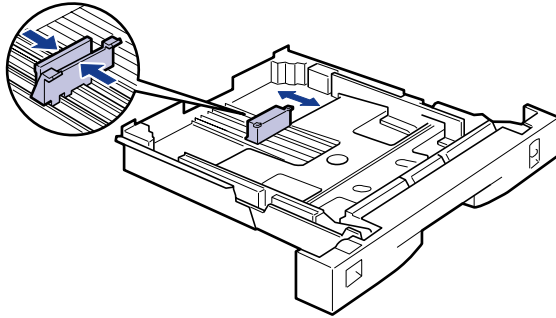
- 紙づまりの原因となることがありますので、次の注意を守ってください。
  - プリント中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります。
  - 普通紙（64～90g/m²）、ラベル用紙以外の用紙をセットしないでください。
  - バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。
  - 用紙は、用紙ガイドの積載制限マークを超えないようにしてください。
  - 使用できる用紙についての詳細は、「用紙について」（→ P.3-2）をご覧ください。
  - 用紙はセットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- ラベル用紙は必ず給紙カセットにセットしてください。給紙トレイにセットすると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
- ラベル用紙にプリントするときは、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を「普通紙」に設定してください。

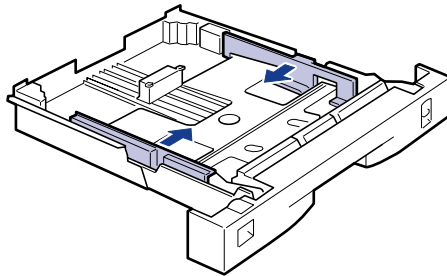
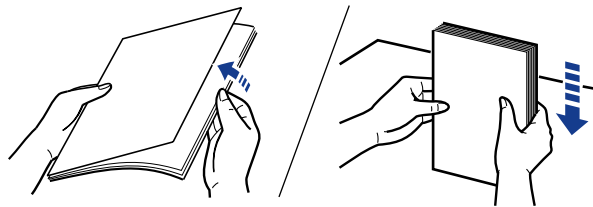
## 1 プリンタ本体の給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げて取り外します。

重要 ● 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

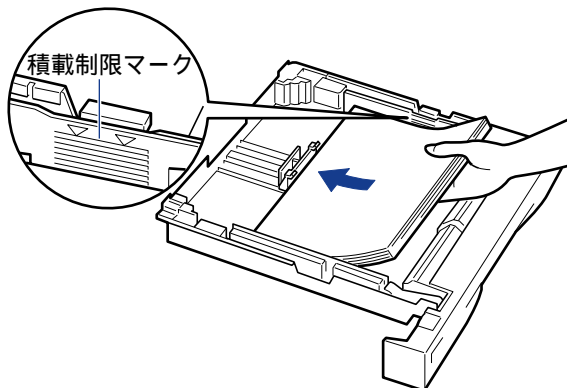
## 2 セットする用紙に合わせて、延長カセットを調節します。

ロック解除レバーは内側に押すと解除、外側に押すとロックします。

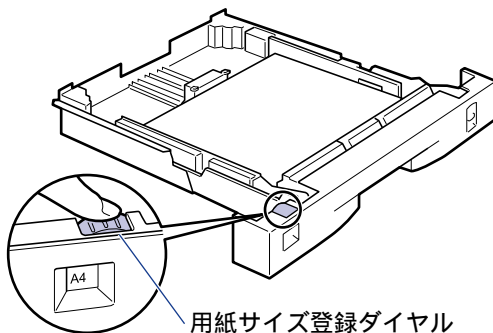
横送りの場合は延長カセットを押し込みます。
縦送りの場合は延長カセットを引き出します。

重要 ● ロック解除レバーは、指先の内側で無理な力をかけずにゆっくりと押してください。
● 給紙カセット前側の分離パッドには絶対に手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

## 3 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

## 4 側面の用紙ガイドをスライドさせて、セットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

## 5 用紙の束をよくさばき、平らな場所で揃えます。

重要 • 用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。

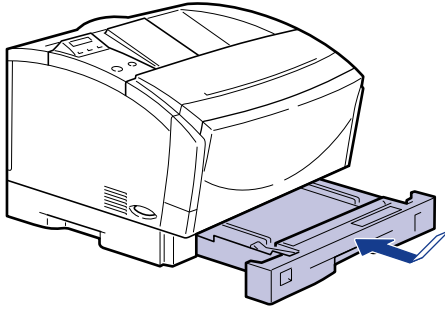
## 6 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

重要
- ラベル用紙と普通紙をいっしょにセットしないでください。普通紙がセットされている場合、ラベル用紙をセットするときは、普通紙をすべて取り除いてからラベル用紙をセットしてください。
- ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして給紙カセットへセットしてください。
- ラベル用紙をセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- 用紙は、絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

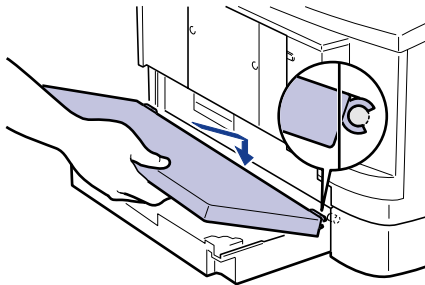
## 7 用紙サイズ登録ダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

工場出荷時はA4にセットされています。

重要
- セットした用紙のサイズと用紙サイズ表示が合っていることを必ず確認してから給紙カセットを本体に差し込んでください。セットした用紙と表示が合っていないと、誤動作の原因になります。

3

給紙・排紙のしかた

## 8 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、プリンタ本体にセットします。

重要
- 給紙カセットを取り付けるときは、床面などに接触しないようにしてください。床面などに接触すると用紙サイズ登録ダイヤルがずれることがあります。

## 9 延長カセットを引き出した場合は、本体背面にカセット保護カバーを取り付けます。

重要
- カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

# 給紙トレイからプリントする

給紙トレイには、横幅が76.2～297mm、長さが98～431.8mmの範囲の用紙をセットできます。セットできる枚数は用紙のサイズ、種類によって異なります。詳しくは「用紙について」（→ P.3-2）をご覧ください。厚紙、OHP フィルム、ハガキ、往復ハガキ、封筒、定形外の用紙など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。給紙トレイからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

■ **給紙トレイに用紙をセットする（→給紙トレイに用紙をセットする：P.3-20 ）**

■ **用紙のサイズを設定する（→給紙トレイの用紙サイズを設定する：P.3-29 ）**
セットアップメニューの「キュウシ」グループ
「トレイヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ

■ **プリンタドライバを設定する（→ LIPS ソフトウェアガイド）**
プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。
ここでは、Windows 版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh版プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。
［ページ設定］ページ
［出力用紙サイズ］＝セットした用紙のサイズ
［給紙］ページ
［用紙タイプ］＝セットした用紙のタイプ
［給紙方法］＝［手差し（トレイ）］

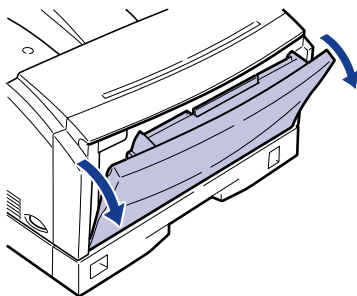
重要
- 給紙トレイに厚紙（91～157g/m²）をセットするときは、幅が100～297mm、長さが98～431.8mmの範囲の用紙をセットしてください。最大積載枚数は約50枚（128g/m²）です。
- 厚紙をプリントするときは、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を「厚紙」に設定してください。
- ラベル用紙は給紙トレイにセットしないでください。給紙トレイからプリントすると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。ラベル用紙は必ず給紙カセットにセットしてください。（→給紙カセットからプリントする：P.3-14 ）

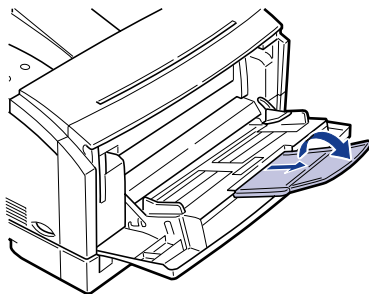
# 給紙トレイに用紙をセットする

## 用紙（ハガキ、封筒以外）をセットする

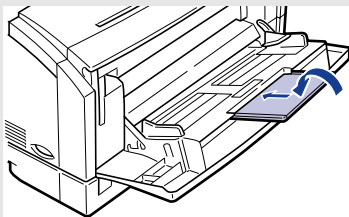
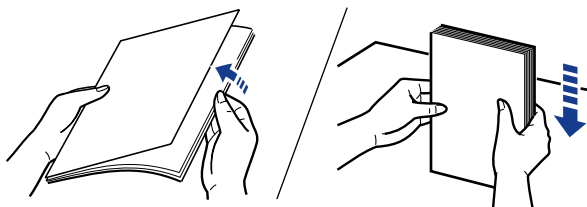
給紙トレイに普通紙や厚紙、OHP フィルムをセットするときは、次の手順で行います。

重要
- 周囲5mmの範囲にはプリントできません。
- OHPフィルムをセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。
- OHPフィルムは本機専用のものを使用してください。本機専用以外のOHP フィルムを使用すると、給紙不良や画質低下の原因になります。
- ラベル用紙は給紙トレイにセットしないでください。給紙トレイからプリントすると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。ラベル用紙は必ず給紙カセットにセットしてください。

### 1 左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。

重要
- 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

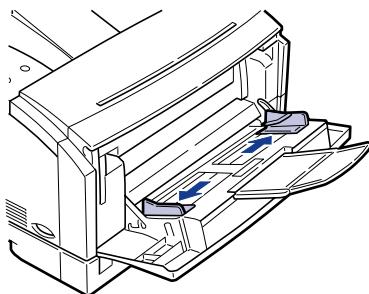
B4 や A3 などの長いサイズの用紙をセットするときは、さらに補助トレイを開きます。

重要
- 給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。
- 補助トレイを開いたまま給紙トレイを閉じないでください。トレイ破損の原因になります。

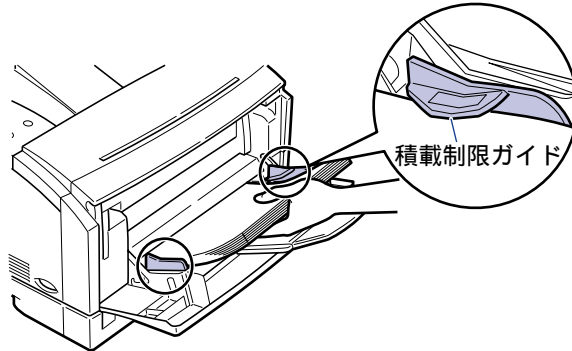
### ●給紙トレイの閉じかた

給紙トレイを閉じるときは、開くときと逆の手順になります。給紙トレイを使わないときは、閉じておいてください。

## 2 用紙の束をよくさばいてから、縁を揃えます。

用紙は、平らな場所で揃えてください。

重要

- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。
- OHPフィルムは、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、フィルムが重なって送られ、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。プリント不良の原因となります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。

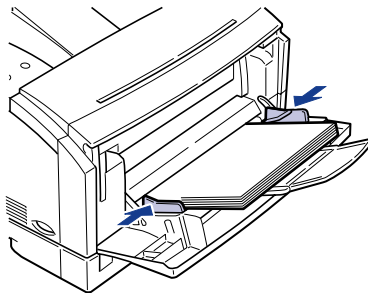
## 3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

## 4 用紙のプリント面を下にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイドの下を通してください。

重要

- 用紙束と積載制限ガイドの間は、十分に余裕を持たせてください。無理につめ込むと給紙不良の原因となります。
- 給紙トレイから給紙できる枚数は、用紙のサイズや種類によって異なります。（→用紙について：P.3-2 ）
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- OHPフィルムをセットする場合は、必ず横送りにセットしてください。

メモ

- A4やレターサイズのように用紙を横送りでセットした場合は、本体正面から見て左側が画像の上端になります。
- B4や A3 サイズのように用紙を縦送りでセットした場合は、奥側が画像の上端になります。

## 5 用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。

重要

- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

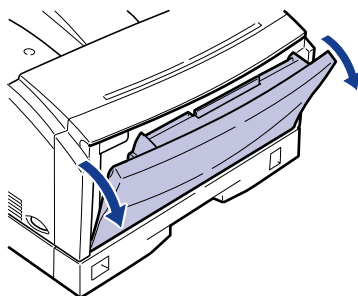
次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。（→給紙トレイの用紙サイズを設定する：P.3-29 ）

## ハガキをセットする

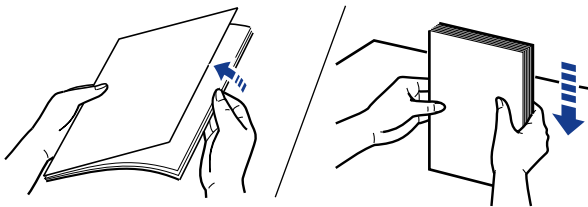
給紙トレイには、100mm × 148mm の官製ハガキ、および折り目のない往復ハガキ（200mm×148mm）を縦送り方向に約40枚までセットできます。
ハガキを給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

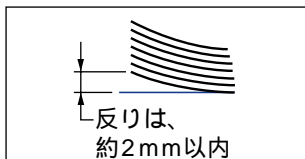
重要
- 官製ハガキ以外のハガキへのプリントは、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- 周囲 5mmの範囲にはプリントできません。
- 官製ハガキおよび往復ハガキは横送りにはセットできません。必ず縦送りにセットしてください。
- インクジェット用の官製ハガキを使用することはできません。

---

**1** **左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。**

往復ハガキの場合は、補助トレイも開いてください。

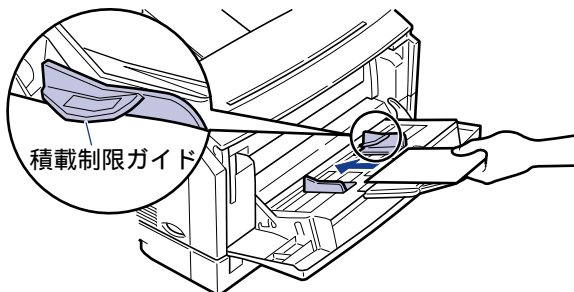
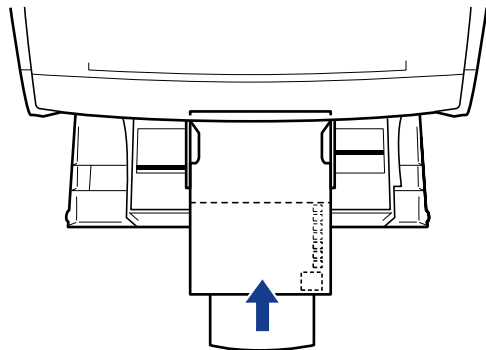
重要
- 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

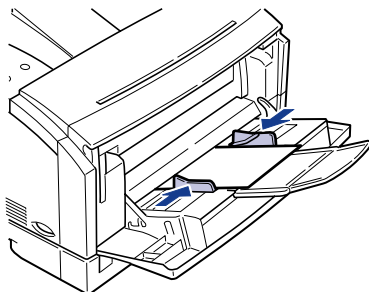
# 2 ハガキをよくさばいてから、縁を揃えます。

ハガキは平らな場所で揃えてください。

重要 • 反りがあるときは、上向きに約2mm以内になるように反りを修正して、よくさばいてからセットしてください。

# 3 用紙ガイドの幅をハガキの幅より少し広めにセットします。

# 4 ハガキまたは、往復ハガキを給紙トレイにセットします。

ハガキ束は、積載制限ガイドの下を通してください。給紙トレイには、ハガキまたは往復ハガキを約40枚までセットできます。

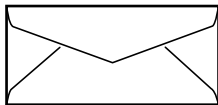
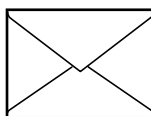
ハガキをセットするときは、図のようにプリントする面を下向きにし、上端を奥側にして奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

往復ハガキをセットするときは、図のようにプリントする面を下向きにし、上端を右側にして奥にあたるまでゆっくりと差し込みます。

重要
- ハガキ束と積載制限ガイドの間は、十分に余裕を持たせてください。無理につめ込むと給紙不良の原因となります。
- 往復ハガキは、必ず折り目の付いていないものをご使用ください。
- 往復ハガキは、必ず縦送りでセットしてください。横送りでセットすることはできません。また、往復ハガキにプリントするときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：Windows NT 4.0／2000 の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）

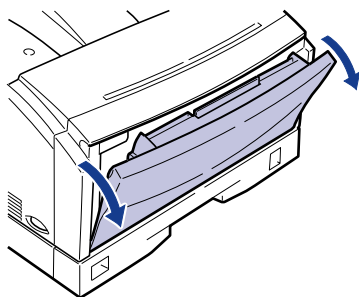
## 5 用紙ガイドをスライドさせて、ハガキの左右にぴったりと合わせます。

重要
- 必ず用紙ガイドをハガキの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。（→給紙トレイの用紙サイズを設定する：P.3-29 ）

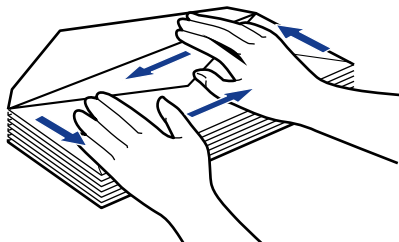
## 封筒をセットする

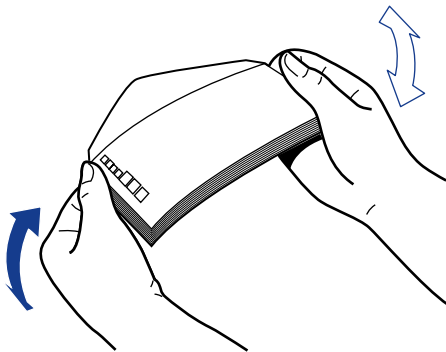
給紙トレイには、洋形４号や洋形２号の封筒をセットできます。封筒を給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- セットできる封筒は、次のような構造のものに限ります。

洋形4号（105mm×235mm）　洋形2号（114mm×162mm）

- 糊付きの封筒は使用しないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。
- 封筒にプリントする場合は、周囲10mmにはプリントできません。
- 封筒は必ず横送りにセットしてください。

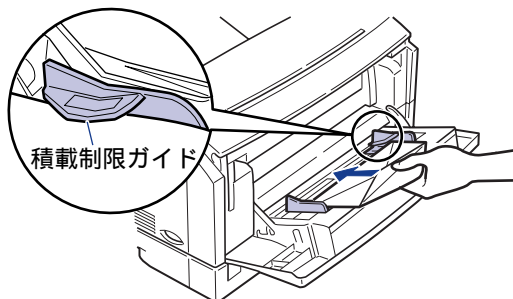
**1** **左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。**

必要に応じて補助トレイも開きます。

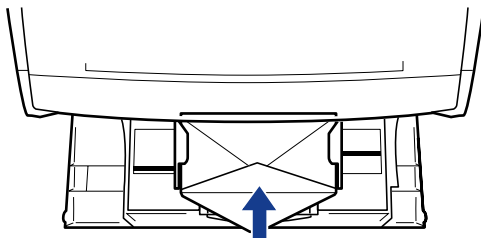
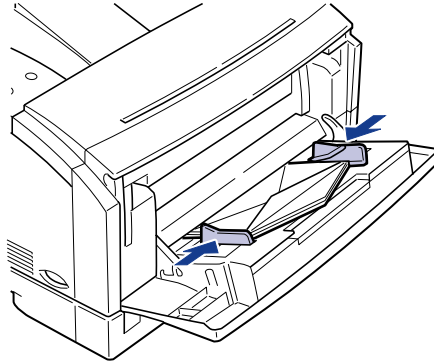
重要
- 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

**2** **封筒のふたを開いて束を平らな場所へ置き、縁の折り目をきちんとつけて、平らにします。**

封筒は、平らな場所で揃えてください。

## 3 封筒の両端を持って、封筒をさばきます。

## 4 用紙ガイドの幅を封筒の幅より少し広めにセットします。

## 5 封筒の宛名を書く面を下向きにして封筒のふたを開き、図のように奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

封筒束は、積載制限ガイドの下を通してください。給紙トレイには、封筒を約 10 枚までセットできます。

重要

- 封筒束と積載制限ガイドの間は、十分に余裕を持たせてください。無理につめ込むと給紙不良の原因となります。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- 封筒は図のようにふたを開いてふたが手前側になる向きにセットしてください。

## 6 用紙ガイドをスライドさせて、封筒の左右にぴったりと合わせます。

重要
- 必ず用紙ガイドを封筒の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。（→給紙トレイの用紙サイズを設定する：P.3-29 ）

## 給紙トレイの用紙サイズを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから給紙トレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒は、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「ユーザペーパー」に設定します。給紙トレイの用紙サイズは、工場出荷状態では「A4」に設定されています。給紙トレイの用紙サイズは、操作パネル、ユーティリティソフトのどちらからでも設定できます。
給紙トレイの用紙サイズは、次の手順で設定します。

**重要**

- 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC XXX ヨウシ ニ コウカン」のメッセージが表示されます。その場合［オンライン］を押すと、「トレイ ヨウシ サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 定形外の用紙をセットしたときは、トレイ用紙サイズを「ユーザペーパー」に設定してプリントしてください。
- トレイ用紙サイズを「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙サイズとのチェックを行いません。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。

**メモ**

- 次の用紙は、略号で表示されます。A5縦：A5R、B5縦：B5R、A4縦：A4R、レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、エグゼクティブ：EX、エグゼクティブ縦：EXR、フリー：FR、ハガキ：HG、往復ハガキ：HG2またはH2、洋形4号封筒：Y4、洋形2号封筒：Y2、ユーザペーパー：80～99
- 多様な用紙サイズを給紙トレイからプリントするとき、確実に用紙のチェックが可能な場合は、「フリー」が便利です。
- ユーティリティソフトの操作については「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

### 1 ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。

**操作パネルで設定できる状態になります。**

### 2 ［セットアップ］を押します。

メニュー項目が表示されます。

リセット/実行

## 3 [<]、[>] で「キュウシ」を選択し、[V] を押します。

キュウシ →

給紙グループの設定項目が表示されます。

トレイ　ヨウシ　サイズ゛ →

セットアップ

リセット/実行

## 4 [<]、[>] で「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、[V] を押します。

トレイ　ヨウシ　サイズ゛ →

現在の設定値が表示されます。

＝ A 4 →

セットアップ

リセット/実行

## 5 [<]、[>] で用紙サイズを選択し、[V] を押します。

B 5 →

**用紙サイズの左に「＝」が表示され、トレイ用紙サイズが設定されます。**

＝ B 5 →

## 6 [オンライン] を押して、オンラインランプを点灯します。

**プリントできる状態になります。**

---

次にプリンタドライバで用紙タイプの設定をしてください。(→ LIPS ソフトウェアガイド)

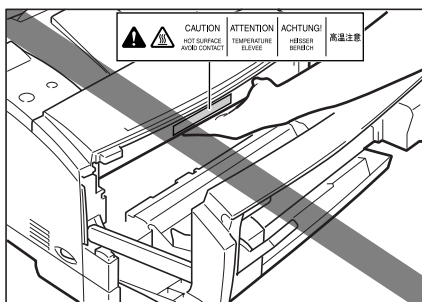
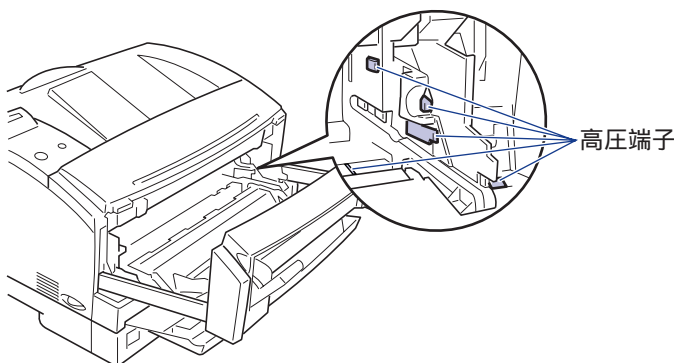
---

# 日常のメンテナンス

**ここでは、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。**

# トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジは消耗品です。トナーが少なくなると、ディスプレイに「16　トナー　チェック」または「16　トナー　コウカン」のメッセージが表示されます。これらのメッセージが表示されたときは、次の操作をしてからトナーカートリッジを交換してください。トナーカートリッジを交換するときは、必ず定着ローラの清掃を行ってください。

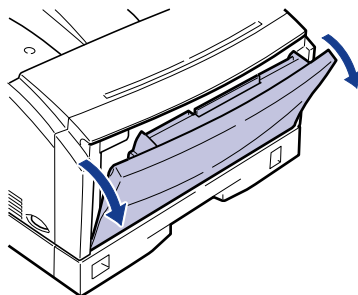
**注意**
- **プリンタ使用中は定着ユニット周辺が高温になっています。定着ユニット周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。**

**重要**
- 前カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

**メモ**
- トナーが少なくなったときに「16　トナー　チェック」と「16　トナー　コウカン」のどちらが表示されるかは、メニュー機能の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　トナー　チェック」が表示されるように設定されています。メニュー機能の設定については、「LIPS機能ガイド」をご覧ください。
- 本プリンタ用EP-65トナーカートリッジの寿命は、A4サイズの用紙を横置きにセットした場合で約10,000枚です。この枚数は一般的なプリント（印字比率：約5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。トナーの消費量は、プリントする書類の内容によって異なります。グラフィックデータなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多くプリントする場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

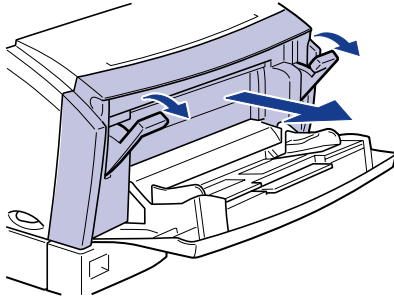
## トナーを使いきるには

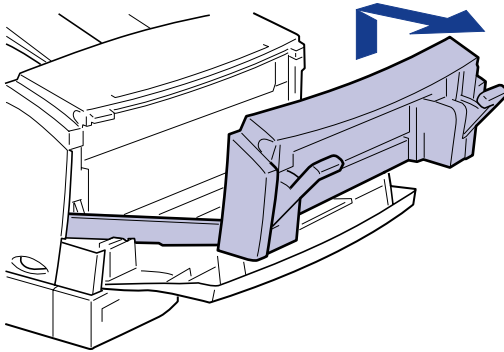
ディスプレイに「16　トナー　チェック」や「16　トナー　コウカン」のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジを交換する前に次のような操作をしてみてください。メッセージが消え、トナーが完全になくなるまで、しばらくの間プリントできることがあります。

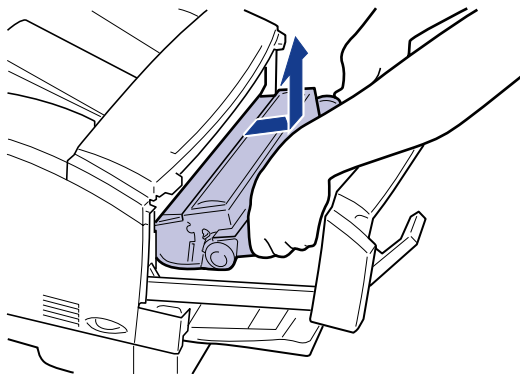
**注意**
- **トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**

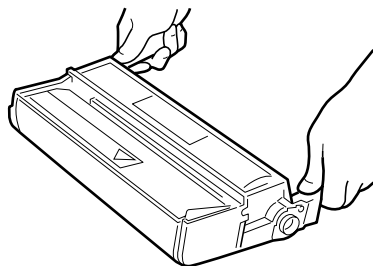
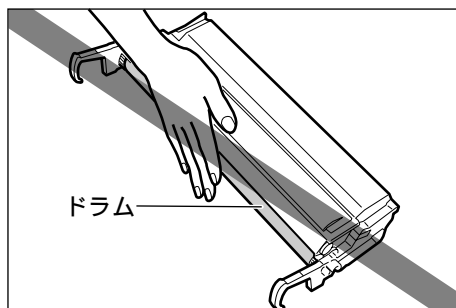
メモ
- 「16　トナー　チェック」は、トナーカートリッジ内のトナーが少なくなっていることを警告するメッセージです。プリンタは停止しません。
- 「16　トナー　コウカン」は、トナーがなくなり、トナーカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されると、プリンタが停止します。

**1** **プリンタが停止したら、左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。**

重要
- 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

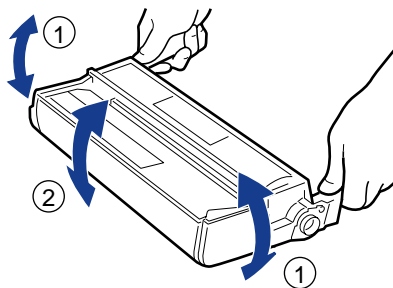
## 2 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

重要 • 前カバー内側の転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

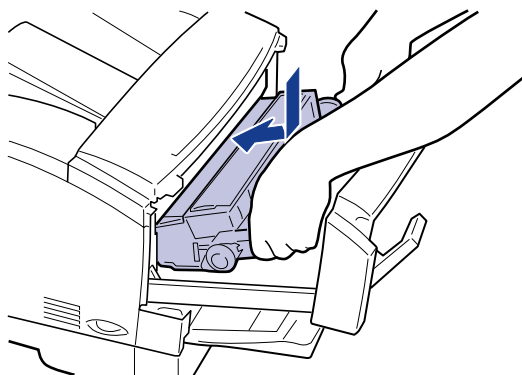
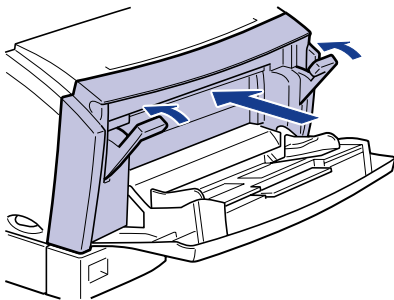
作業がしにくいときは、前カバーを少し持ち上げながら引くと、取り外すことができます。

重要 • 取り外した前カバーは安全な場所に置いてください。

## 3 トナーカートリッジ左右の取っ手を持ち、水平に引き抜いてトナーカートリッジを取り出します。

重要

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しい持ちかたで持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- トナーカートリッジ内部のドラムに手を触れないでください。

- トナーカートリッジ内部のドラムに傷をつけないでください。

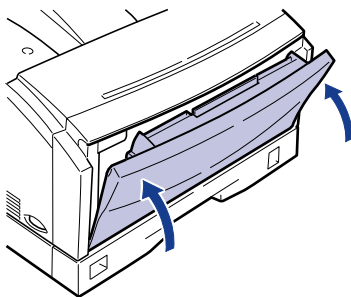
## 4 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと左右に 5 ～ 6 回振り ①、次に上下に 5～6 回振って内部のトナーを均一にならします ②。

トナーがこぼれないように注意して振ってください。

重要 • トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。

## 5 トナーカートリッジを図のように両手で持ち、トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで水平に押し込みます。

## 6 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。

もし、この操作をしてもメッセージが消えなかったり、プリントがかすれてきたときは、新しいトナーカートリッジを購入して交換してください。

重要

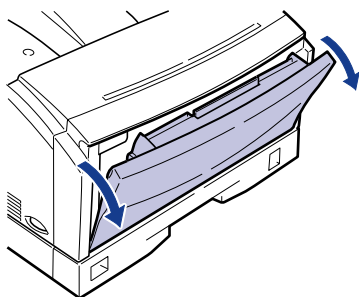
- トナーカートリッジが正しく取り付けられていないと、前カバーが完全に閉まりません。無理に閉めようとすると、前カバーを破損する恐れがあります。前カバーが完全に閉まらないときは、もう一度前カバーを開いてトナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。
- トナーカートリッジを取り付けた後、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

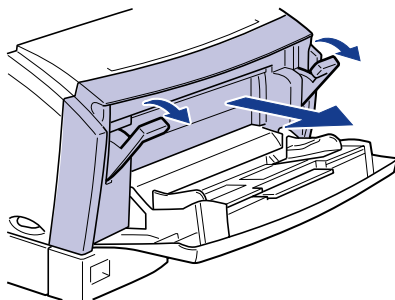
## 7 給紙トレイを閉じます。

# トナーカートリッジを交換する

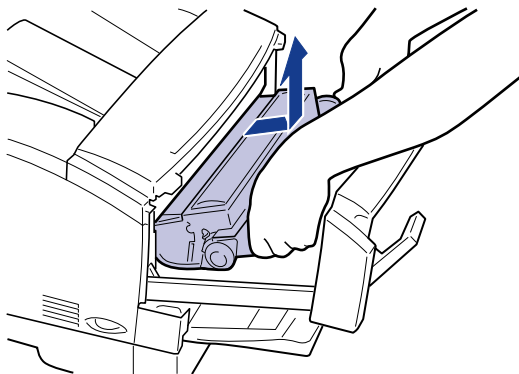
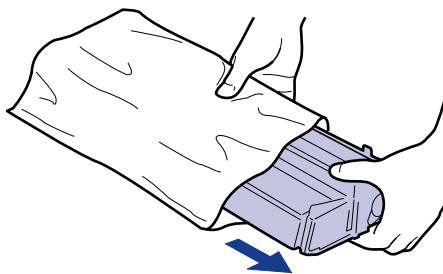
交換用のトナーカートリッジは、次の手順でセットしてください。

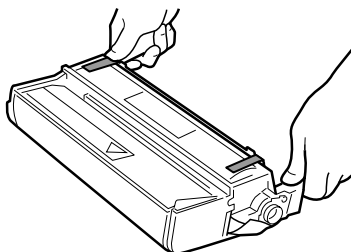
**警告**
- **使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。**

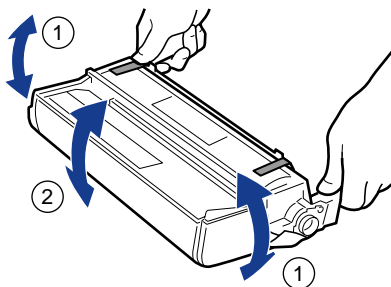
**注意**
- **トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**

## 1 プリンタが停止したら、左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。

重要
- 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

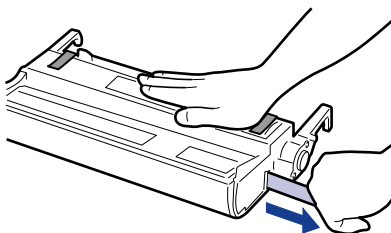
## 2 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

重要
- 前カバー内側の転写ローラおよび除電ユニットには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

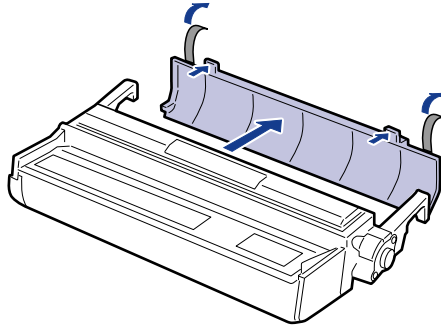
## 3 トナーカートリッジ左右の取っ手を持ち、水平に引き抜いてトナーカートリッジを取り出します。

## 4 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

**重要**

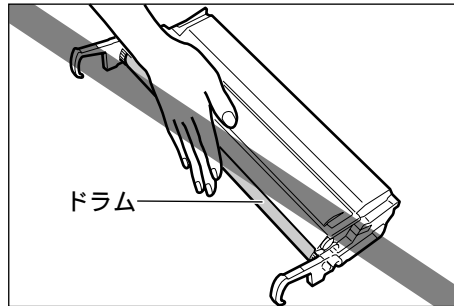
- 交換用のトナーカートリッジは、キヤノン純正品 をお使いになることをおすすめします。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しい持ちかたで持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンスなどのためにトナーカートリッジを取り出した際、必要になります。

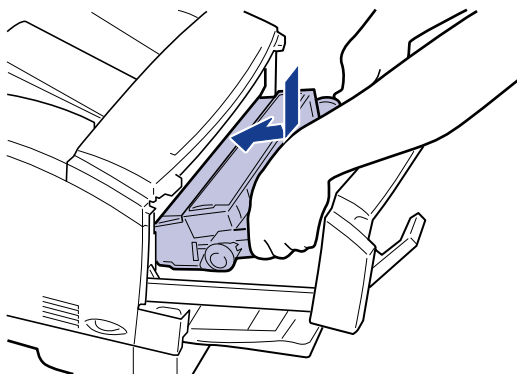
## 5 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと左右に 5 ～ 6 回振り①、次に上下に5～6 回振って内部のトナーを均一にならします②。

重要 • トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。

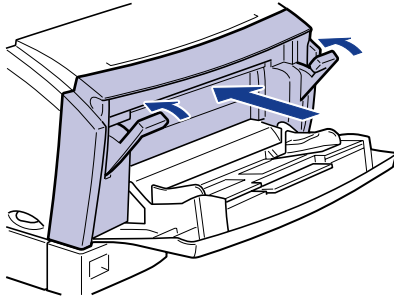


## 6 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープをまっすぐ横に引き抜きます。

重要
- シーリングテープを最後まで完全に抜き取らないと、印字不良の原因になります。
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れて完全に引き抜けなくなり、トナーカートリッジが使えなくなることがあります。
- シーリングテープを途中で止めないでください。トナーが散乱し、印字品質低下の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは廃棄してください。

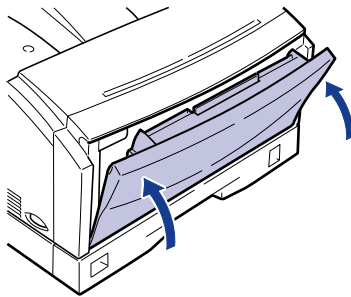
## 7 2箇所のレバー部分を押して、トナーカートリッジの保護カバーを取り外します。

重要

- 一度取り外した保護カバーは、ドラムを傷つけることがありますので再装着しないでください。
- トナーカートリッジ内部のドラムに手を触れないでください。

- トナーカートリッジ内部のドラムに傷をつけないでください。

## 8 トナーカートリッジを図のように両手で持ち、トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで水平に押し込みます。

## 9 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。

重要

- トナーカートリッジが正しく取り付けられていないと、前カバーが完全にしまりません。無理に閉めようとすると、カバーを破損する恐れがあります。前カバーが完全に閉まらないときは、もう一度前カバーを開けてトナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。
- トナーカートリッジを取り付けた後、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。



## 10 給紙トレイを閉じます。

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

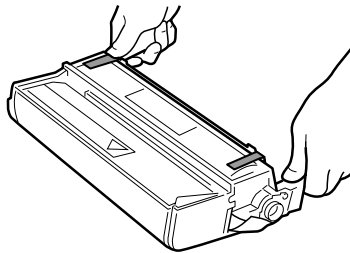
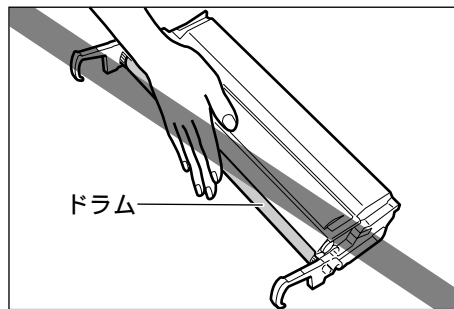
次に定着ローラの清掃を行ってください。(→定着ローラを清掃する：P.4-15 )

## トナーカートリッジ取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因となることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。

**警告**
- **使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。**

**注意**
- **トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**

**重要**
- 新品のトナーカートリッジに装着されている保護カバーは、ドラムを傷つけることがありますので取り外し後に再装着しないでください。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しい持ちかたで持ち、必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- ドラムなど、指定以外の部分に触れないように注意して取り扱ってください。故障の原因になることがあります。

- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- 本体にセットするまでは保護袋から出さないでください。本体から取り外したときは、すみやかに厚い布で包むか、トナーカートリッジが入っていた保護袋に入れてください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。ディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近づけないでください。データ破損などの原因を与えることがあります。
- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）

ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに2時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。

- 交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをおすすめします。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

## トナーカートリッジの保管

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

重要

- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋を開封しないでください。
- 使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、遮光のためにパッケージに使われていた保護袋、あるいは厚手の布で包んで保管してください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：０～３５℃
  保管湿度範囲：３５～８５％RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- ディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置の近くには置かないでください。
- フロッピーディスクなど、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

**●結露とは**

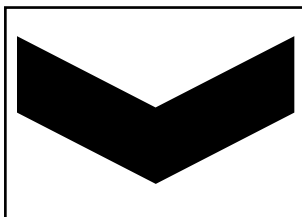
保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

# 定着ローラを清掃する

トナーカートリッジの交換が終わったら、次の手順で定着ローラを清掃してください。また、プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合も、定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。定着ローラの清掃は、まずクリーニング用紙をプリントし、そのクリーニング用紙を使って清掃します。

重要
- 定着ローラの清掃は、トナーカートリッジの交換毎に行ってください。

## クリーニング用紙のプリント

定着ローラを清掃するときは、A4 またはレターサイズの用紙に図のようなクリーニング用紙をプリントします。

重要
- A4 またはレターサイズの用紙以外に、クリーニング用紙をプリントすることはできません。A4 またはレターサイズの用紙をご用意ください。
- A4 またはレターサイズの用紙が給紙カセットにセットされていないときは、給紙トレイにA4 またはレターサイズの用紙を横送りでセットしてください。

### 1 [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

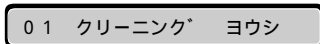
### 2 [ユーティリティ] を押します。

**ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。**

### 3 [<]、[>] を押して「クリーニング　ヨウシ」を選択し、[V] を押します。

クリーニング゛　ヨウシ →

**ディスプレイに「01　クリーニング　ヨウシ」と表示され、クリーニング用紙がプリントされます。**

01　クリーニング゛　ヨウシ

重要
- A4 またはレターサイズの用紙がいずれの給紙元にもセットされていないときは、メッセージが表示されます。給紙トレイに用紙をセットしてください。
- 給紙選択を給紙トレイに設定し、A4 用紙をセットしてください。

### 4 [オンライン] を押して、オンラインランプを点灯します。

**プリントできる状態になります。**

4

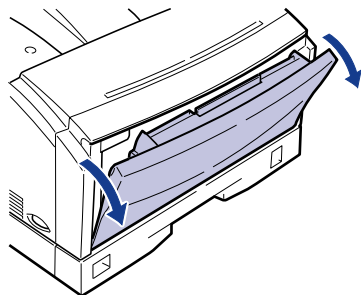
日常のメンテナンス

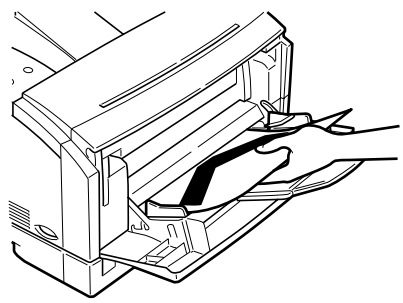
## 定着ローラの清掃

プリントしたクリーニング用紙を使って定着ローラを清掃します。定着ローラを清掃するときは、給紙トレイから給紙します。

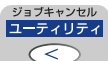
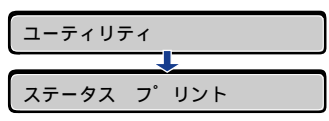
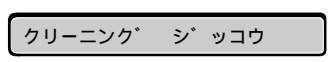
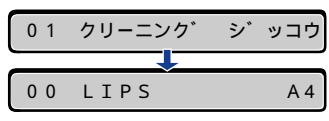
### 1 [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

### 2 左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。

重要
- 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

## 3 クリーニング用紙の印字面を上向きにして、矢印が奥側に向くようにセットします。

## 4 [ユーティリティ] を押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

V
リセット/実行

## 5 [<]、[>] を押して「クリーニング　ジッコウ」を選択し、[V] を押します。

クリーニング用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。

メモ
- クリーニングには、約5分かかります。

## 6 [オンライン] を押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

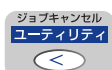
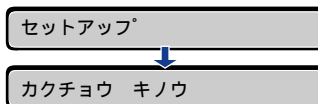
# 印字濃度を調整する

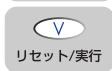
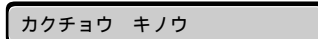
プリント結果の印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりするようなときは、次のような操作でトナー濃度を調整します。トナー濃度は、工場出荷時に標準的な濃度（4）に設定されています。トナー濃度は、操作パネルとユーティリティソフトのいずれからでも設定できます。ユーティリティソフトからの設定方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。トナー濃度をプリンタの操作パネルから設定するときは、次の手順で行います。

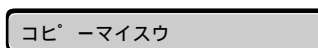
## 1 [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯します。

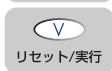
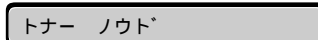
操作パネルで設定できる状態になります。

## 2 [セットアップ] を押します。

メニュー項目が表示されます。

## 3 [<]、[>] で「カクチョウ キノウ」を選択し、[V] を押します。

カクチョウ　キノウ →

拡張機能の設定項目が表示されます。

コヒ゜ーマイスウ →

## 4 [<]、[>] で「トナー ノウド」を選択し、[V] を押します。

トナー　ノウド゛ →

トナー濃度の設定値が表示されます。

＝4 →

## 5 [<]、[>] で目的の数値を選択し、[V] を押します。

[<] を押すと数値が減り、印字濃度は薄くなります。

[>] 押すと数値が増え、印字濃度は濃くなります。

```
6                                →
```

**設定値の左に「=」が表示され、トナー濃度が設定されます。**

```
=6                               →
```

## 6 [オンライン] を押して、オンラインランプを点灯します。

**プリントできる状態になります。**

# 給紙ローラと分離パッドを清掃する

### ■ 給紙トレイの給紙ローラを清掃する場合

給紙ローラが汚れると、用紙がうまく給紙されなくなります。用紙が給紙されない、または給紙トレイで紙づまりが頻繁に発生するようなときは、給紙ローラの清掃が必要です。詳しくは、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

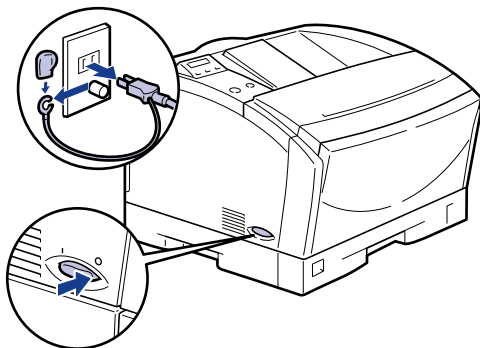
### ■ 給紙カセット、ペーパーフィーダ（オプション）の給紙ローラと分離パッドを清掃する場合

給紙ローラや分離パッドが汚れると、用紙がうまく給紙されなくなります。用紙が給紙されない、または給紙カセットやペーパーフィーダ（オプション）で紙づまりが頻繁に発生するようなときは、給紙ローラと分離パッドの清掃が必要です。給紙ローラと分離パッドは次の手順で清掃します。

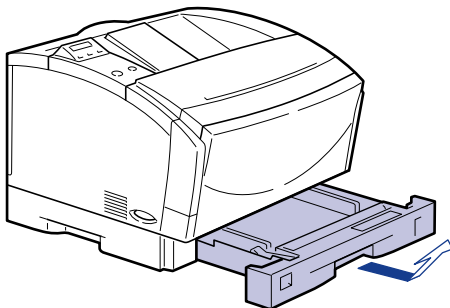
**重要**
- 給紙ローラと分離パッドの清掃を行っても用紙がうまく給紙されないときは、給紙ローラと分離パッドの交換が必要です。詳しくは、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

**メモ**
- ペーパーフィーダ（オプション）の給紙ローラと分離パッドの清掃は、プリンタ本体の給紙ローラや分離パッドと同様の手順で行います。

---

**1 電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

**重要**
- 電源をオフにするときは、プリント中のデータがないことを確認してください。

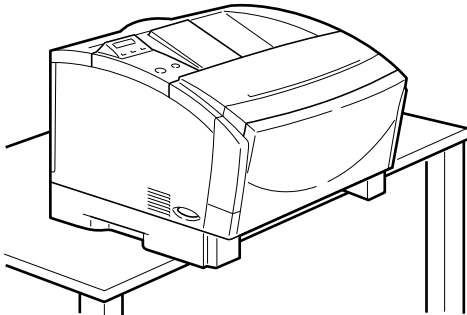
**2** **給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げてプリンタ本体から取り外します。**

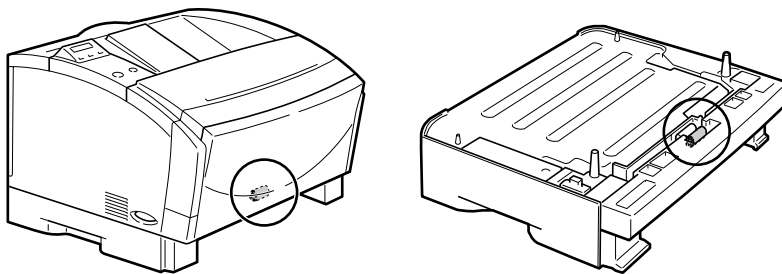
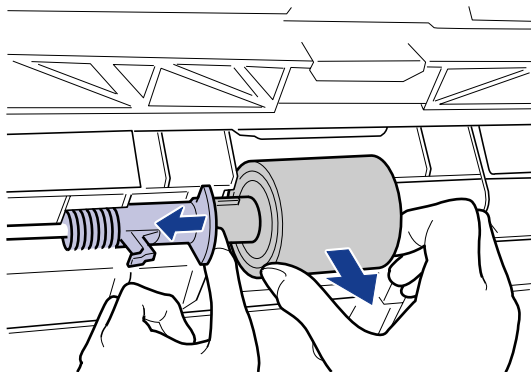
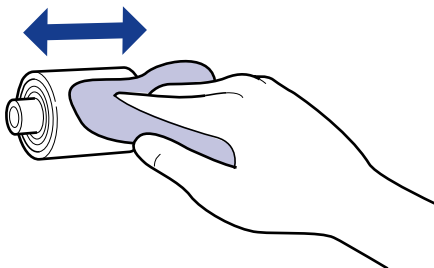
重要

- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

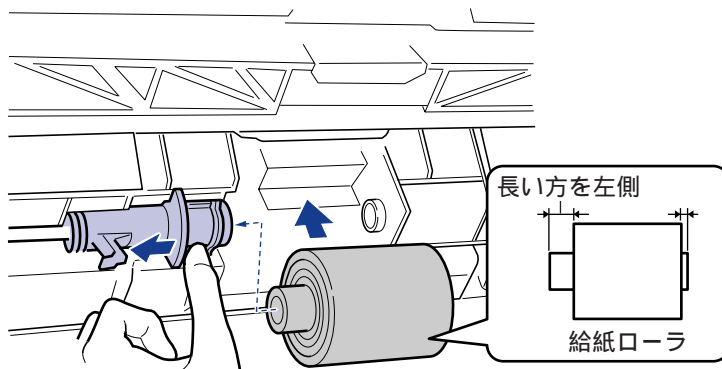
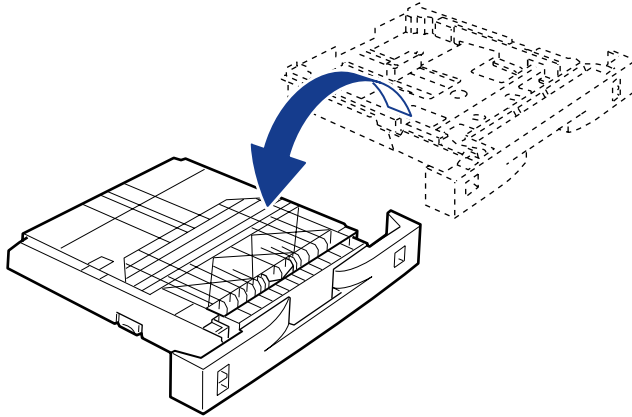
メモ

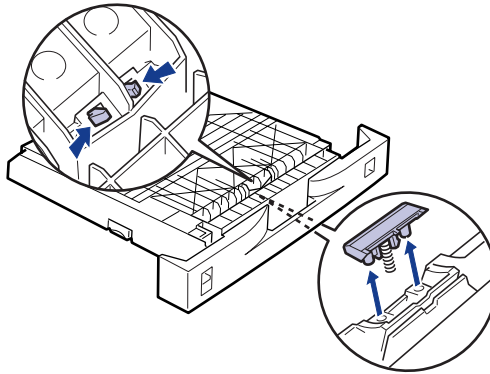
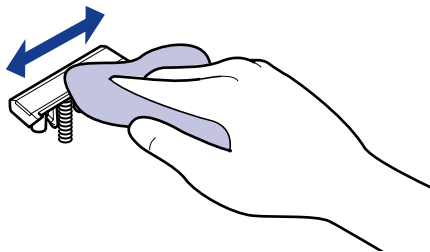
- ペーパーフィーダ（オプション）の給紙ローラと分離パッドを清掃するときは、すべてのペーパーフィーダの給紙カセットを取り外します。

**3** **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り外します。**

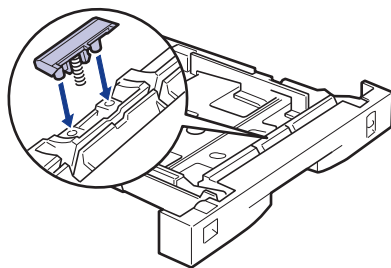
## 4 プリンタ本体やペーパーフィーダを作業しやすい場所へ移動します。

重要
- プリンタを移動するときは、「プリンタを移動する」（→ P.4-29）をご覧ください。
- ペーパーフィーダの清掃は、一段ずつ行ってください。また、移動するときは、一段ずつ取り外して持ち運んでください。

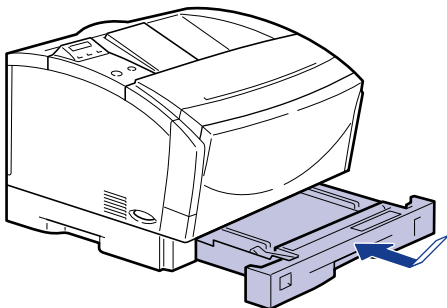
給紙ローラは、プリンタ本体または、ペーパーフィーダの前側下部に取り付けられています。

## 5 レバーを左側に押して、給紙ローラを取り外します。

**6** **水を含ませた柔らかい布をかたく絞り、図のように給紙ローラの汚れを拭き取ります。**

重要
- 給紙ローラの汚れを拭き取るときは、矢印の方向に拭き取ってください。
- 水を含ませた布以外のもので清掃しないでください。
- 給紙ローラは、完全に乾いてから取り付けてください。

**7** **給紙ローラの軸の長い方を左に向け、レバーを左側に押しながら給紙ローラを軸にはめ込んでレバーを戻します。**

## 8 給紙カセットを裏返します。

## 9 分離パッドのツメを左右同時につまみ、分離パッドを取り外します。

給紙カセットを上に向けたまま取り外すと、パッドが飛び出すことがあります。パッドが飛ばないように押さえながら取り外してください。

## 10 水を含ませた柔らかい布をかたく絞り、図のように分離パッドの汚れを拭き取ります。

重要
- 分離パッドの汚れを拭き取るときは、矢印の方向に拭き取ってください。
- 水を含ませた布以外のもので清掃しないでください。
- 分離パッドは、完全に乾いてから取り付けてください。

## 11 分離パッドをバネと一緒に図のように取り付けます。

カチッと音がするまで押し込んでください。

## 12 プリンタ本体やペーパーフィーダを設置場所へ戻します。

## 13 給紙カセットを図のように斜めに差し込み、ゆっくりと水平に押し込んで取り付けます。

**14** 電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り付けます。

**15** アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

# プリンタを清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や冷却用排気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次のような点に注意して清掃を行ってください。

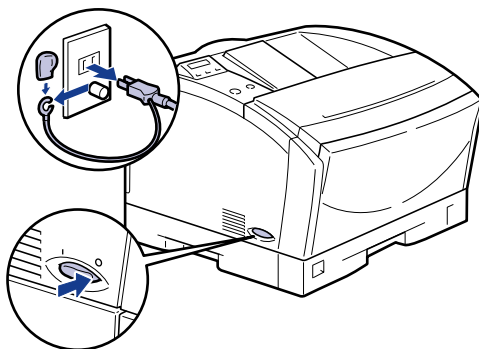
**警告**

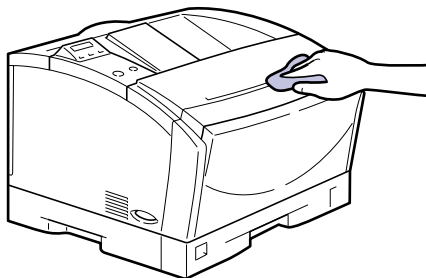
- **清掃のときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。**
- **アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。**

重要

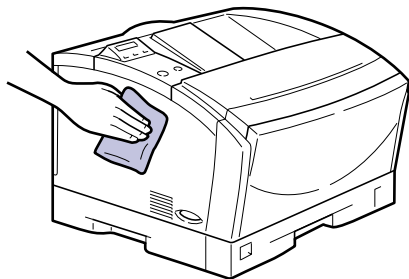
- 本体のプラスチックが変質したりひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 前カバーやカセット保護カバー、本体内部の機構部などには、絶対に注油しないでください。本プリンタは注油の必要はありません。

**1 電源スイッチの“ ○ ”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから、アース線をアース線端子から取り外します。**

重要

- 電源をオフにするときは、 プリント中のデータがないことを確認してください。

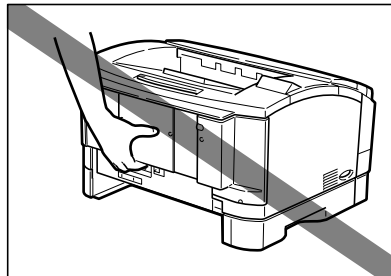
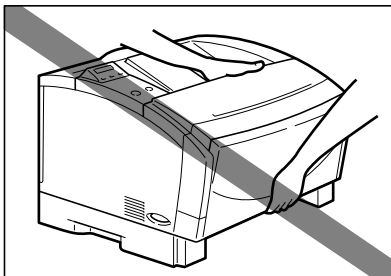
## 2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れを拭き取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ず後から水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ってください。



## 3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

## 4 完全に乾いたら、アース線をアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

# プリンタを移動する

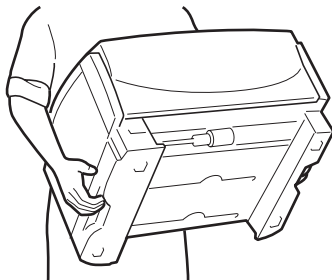
設置場所の変更や清掃のためにプリンタを移動するときは、次の手順に従って移動してください。

**注意** • **絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。**

## 本体を移動する

**1** **電源をオフにします。**

**2** **電源コードやインタフェースケーブルをすべて取り外します。**

**3** **給紙カセットを取り外します。**

## 4 図のように本体両側面下部の運搬用取っ手に手を掛け、しっかりと抱えて持ちます。

重要
- 本プリンタは、本体のみで約13.5kgあります。十分に注意して持ち運んでください。（トナーカートリッジは約2kg、給紙カセットは約1.5kgあります。）
- 必ず給紙カセットを取り外し、給紙トレイが閉じていることを確認してから持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損する原因になります。

メモ
- オプションのペーパーフィーダが取り付けられているときは、「ペーパーフィーダの取り外しかた」（→設置ガイド）をご覧ください。

## 5 移動場所にゆっくりとおろします。

注意
- **プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。**

# プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の注意をよくお読みいただき、十分に注意して取り扱ってください。

重要

- 本体の上に重いものを置かないでください。
- 前カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、プリントの品質が低下する原因になります。
- プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。
- プリント中は、絶対に前カバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 給紙トレイや前カバーの開閉は、ていねいに行ってください。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

## プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないようなときは、以下の環境で保管してください。
・温度が０～３５.０℃の範囲内の場所
・湿度が５～９５％RH（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

# 困ったときには

5
CHAPTER

ここでは紙づまりが起こったときやエラーメッセージが表示されたときの対処のしかたについて説明しています。

# トラブル解決マップ

プリントできないときや困ったときは、このマップで参照先を探してください。

NetSpot Job Monitor
にメッセージが
表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択さていない
（→LIPS ソフトウェアガイド）
はい
はい
オンラインになっていない
「オンラインとオフライン」（→P.2-6）
“ プリンタの準備
ができていません ”
が表示されている
プリンタの電源が入っていない
「電源のオン、オフ」（→P.2-4）
ケーブルが正しく接続されていない
（→設置ガイド ）
いいえ
はい
“ 11　ヨウシガアリマセン ” が表示されている
「給紙カセットからプリントする」（→P.3-14）
「給紙トレイからプリントする」（→P.3-19）
“ 13　ヨウシガツマリマシタ ” が表示されている
「紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）」（→P.5-4）
エラーメッセージ
が表示されている
“ 16　トナー　コウカン ” が表示されている
「トナーカートリッジを交換する」（→P.4-2）
その他のエラーメッセージが表示されている
「メッセージが表示されたときは」（→P.5-12）
いいえ
プリンタのジョブ
ランプが点灯した
ままになっている
はい
前のジョブデータが残って次のプリントができない
「プリントを中止したいときは」（→P.2-12）
いいえ
プリンタデータを処理中です
しばらくお待ちください

# 紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）

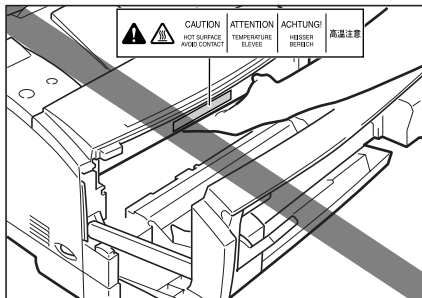
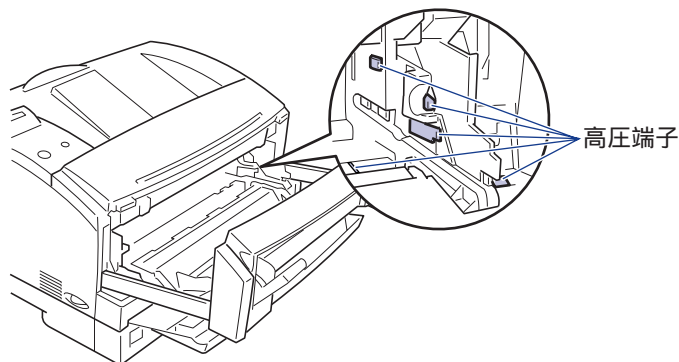
プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、プリントを再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

## 紙づまりの除去手順

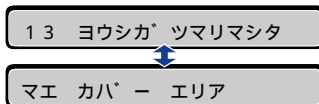
用紙がつまったときは、最初にメッセージを確認し、加圧解除レバーを解除してから、用紙を取り除きます。

5

困ったときには

⚠注意　• **プリンタ使用中は定着ユニット周辺が高温になっています。定着ユニット周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。**

重要
- 前カバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源はオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。
- 前カバーを開いたときは、内側の転写ローラおよび除電ユニットに触れないように注意してください。
- 用紙を取り除くときは、ドラムに触れないように注意してください。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。

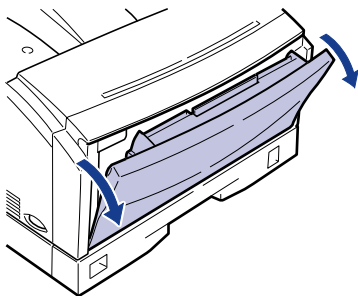
## 1 ディスプレイに表示されているメッセージをすべて確認します。

エラーメッセージと場所が1つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。メッセージは前カバーを引き出すと表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

メッセージは紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。複数表示されている場合はすべてを書きとめて、順番に従って確認してください。

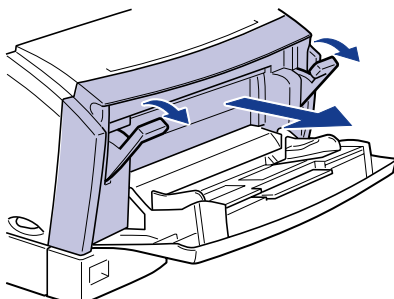
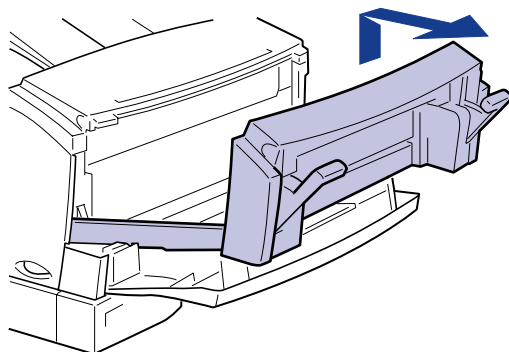
| ディスプレイメッセージ | 紙づまり位置 | 点検順番 |
|---|---|---|
| 「マエ　カバー　エリア」 | 前カバー部 | 1 |
| 「ハイシ　エリア」 | 排紙部 | 2 |
| 「キュウシ　エリア」 | 給紙部 | 3 |

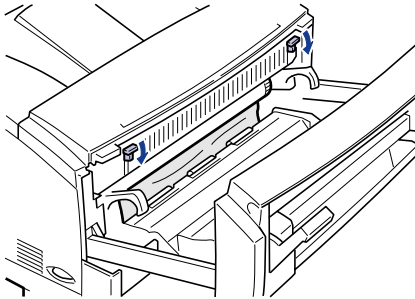
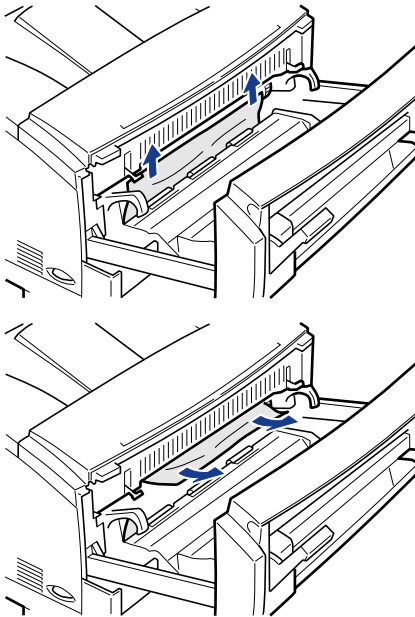
5
困ったときには

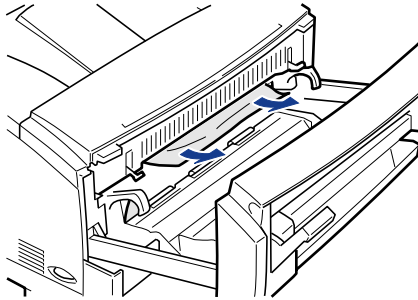
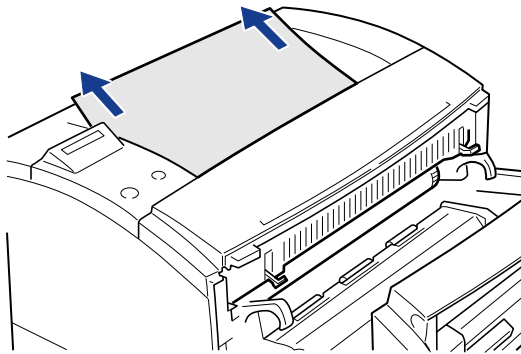
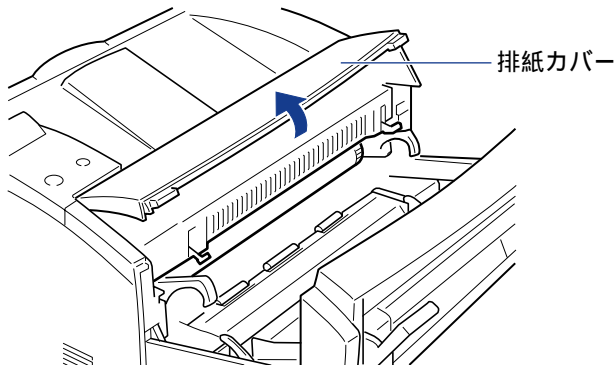
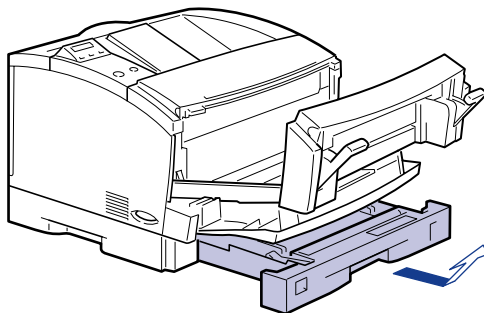
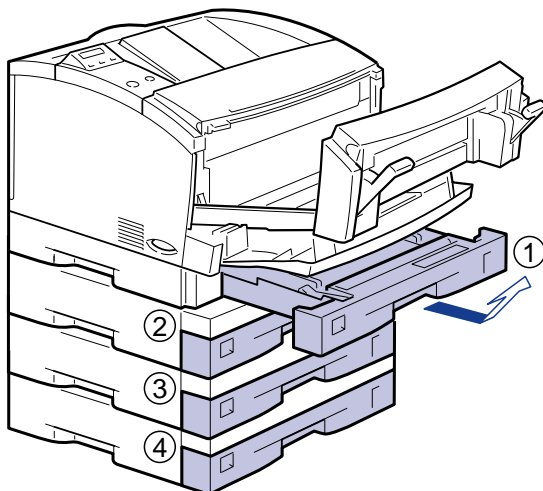
## 2 左右の取っ手を持って給紙トレイをゆっくりと開きます。

給紙トレイから給紙していた場合には、手順３に進んでください。

重要 • 給紙トレイは、左右の取っ手を持ち、最後まで手をそえてゆっくりと開いてください。

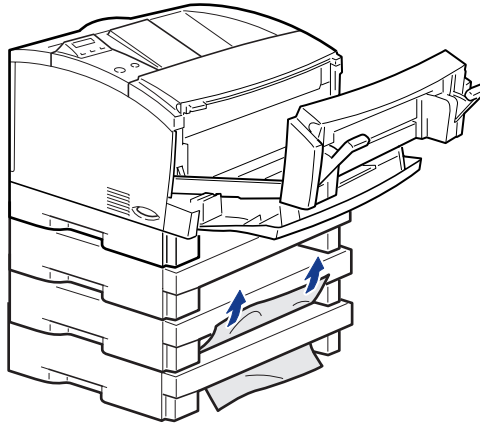
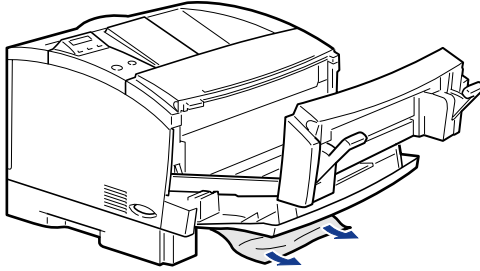
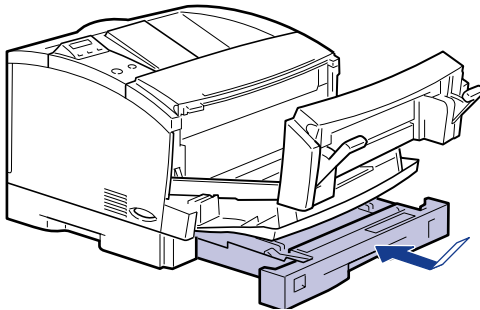
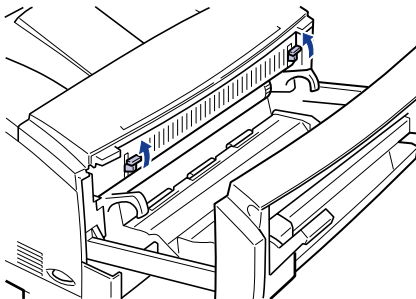
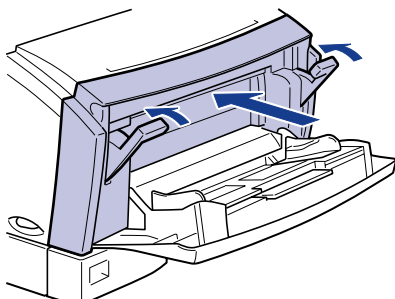
## 3 給紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

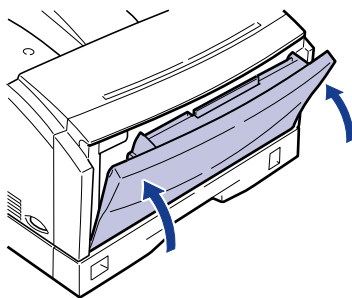
## 4 左右の開閉レバーを下げて、前カバーを引き出します。

作業がしにくいときは、前カバーを少し持ち上げながら引くと、取り外すことができます。

重要 • 取り外した前カバーは安全な場所に置いてください。

**5** 緑色の加圧解除レバーを左右ともに下げて、定着ユニット圧を解除します。

**6** 「マエ カバー エリア」が表示されているときは、前カバー内部につまっている用紙を両手で引いて取り除きます。

## 7 「ハイシ エリア」が表示されているときは、次のようにつまっている用紙を両手で引いて取り除きます。

前カバー内部に用紙が見えているときは、つまっている用紙を両手で引いて取り除きます。

前カバー内部に用紙が見えないときは、排紙トレイ側からつまっている用紙を両手で引いて取り除きます。

メモ
- つまっている用紙を取り除いたあと、紙片などが残っていないか、排紙カバーを開いて確認してください。

## 8 「キュウシ　エリア」が表示されているときは、給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げて取り外します。

オプションのペーパーフィーダを取り付けている場合は、上段側から順にすべての給紙カセットを引き出してください。

重要

- カセットは上段側から引き出してください。下段側から引き出すと、つまった用紙がやぶれて紙づまりの原因となります。
- 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

## 9 つまっている用紙を両手で引いて取り除きます。

## 10 用紙や給紙カセットをセットします。

## 11 加圧解除レバーを左右ともに上げて、ロックします。

## 12 前カバーを閉じ、左右の開閉レバーを上げてロックします。

重要
- トナーカートリッジを取り付けた状態で、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。

## 13 給紙トレイを閉じます。

# メッセージが表示されたときは

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにエラーメッセージを表示します。また、プリントに支障はないが、何らかの処置が必要な状況が発生すると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

メモ
- 複数の警告が同時に発生しているときは、メッセージを交互に表示します。
- エラーメッセージが同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- セットアップメニューの「ケイコクヒョウジ」を「シナイ」に設定すると、（警告メッセージ）の付いているメッセージは表示されません。
- <エラースキップ可>の付いているメッセージは、［オンライン］を押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中断したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから［オンライン］を押して再度プリントしなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは「自動エラースキップ」を「ツカウ」に設定すると、自動的にエラーをスキップさせることもできます。

## 02 テイチャクキ　レイキャク

**原　因**：連続プリントによって定着ユニットの温度が一定の温度を超えた

**処　置**：そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着ユニットの冷却を行います。冷却が終了するとプリントを再開します。

## 11 XXX ヨウシガ アリマセン（XXX は用紙サイズまたは略号→P.1-7）

**原　因**：給紙カセットまたは給紙トレイに指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「自動」のときはすべての給紙カセットと給紙トレイ、固定のときは設定されている給紙カセットまたは給紙トレイ）

**処置 1**：用紙を補給またはセットしてください。

参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→P.3-14）

**処置 2**：［給紙選択］で別の給紙元を選択してください。

参照先　：「給紙元の選択」（→P.3-11）

## 12 カバーガ アイテイマス

**原　因**：前カバーが開いている

**処　置**：前カバーをしっかりと閉じます。オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参照先　：「紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）」（→ P.5-4）

## 13 ヨウシガ ツマリマシタ

**原　因**：内部で紙づまりを起こしている

**処　置**：紙づまりを除去し、給紙カセットや前カバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参照先　：「紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）」（→ P.5-4）

**重要**

- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイに紙づまりの位置を交互に表示します。
- 前カバーを開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず前カバーを一度開閉してください。

## 14 EPカートリッジ ナシ

**原　因**：トナーカートリッジがセットされていない

**処　置**：トナーカートリッジをセットしてください。前カバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参照先　：「トナーカートリッジをセットする」（→設置ガイド）

## 16 トナー チェック　（警告メッセージ）

**原　因**：トナーの残量が少なくなってきた

**処　置**：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に5～6回、上下に5～6回振って、セットしなおします。この操作を行ってもメッセージが表示されるときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。前カバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参照先　：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

## 16 トナー コウカン　<エラースキップ可>

**原　因** ：トナーの残量が少ない

**処置 1** ：トナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換してください。前カバーを閉じた後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

**処置 2** ：［オンライン］を押すと「16 トナー　チェック」のメッセージに変わり、プリントを継続します。

参照先　：「トナーカートリッジを交換する」（→ P.4-2）

## 17 カセット1 ヨウシ ナシ　（警告メッセージ）

**原　因** ：カセット 1 の用紙が切れている

**処　置** ：カセット 1 に用紙を補給してください。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-14）

## 17 カセット2 ヨウシ ナシ　（警告メッセージ）

**原　因** ：ペーパーフィーダを装着時に、カセット 2 の用紙が切れている

**処　置** ：カセット 2 に用紙を補給してください。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-14）

## 17 カセット3 ヨウシ ナシ　（警告メッセージ）

**原　因** ：ペーパーフィーダを 2 段以上装着時に、カセット3 の用紙が切れている

**処　置** ：カセット 3 に用紙を補給してください。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-14）

## 17 カセット4 ヨウシ ナシ　（警告メッセージ）

**原　因** ：ペーパーフィーダを 3 段装着時に、カセット4 の用紙が切れている

**処　置** ：カセット 4 に用紙を補給してください。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは［オンライン］を押してください。

参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-14）

## 18 カセット1 ナシ

**原　因**：カセット1がセットされていない

**処置1**：カセット1をセットしてください。
参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→P.3-14）

**処置2**：[給紙選択] で給紙トレイを選択してください。
参照先　：「給紙元の選択」（→P.3-11）

## 18 カセット2 ナシ

**原　因**：カセット2がセットされていない

**処置1**：カセット2をセットしてください。
参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→P.3-14）

**処置2**：[給紙選択] で給紙トレイを選択してください。
参照先　：「給紙元の選択」（→P.3-11）

## 18 カセット3 ナシ

**原　因**：カセット3がセットされていない

**処置1**：カセット3をセットしてください。
参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→P.3-14）

**処置2**：[給紙選択] で給紙トレイを選択してください。
参照先　：「給紙元の選択」（→P.3-11）

## 19 ヨウシガ ノコッテイマス　（警告メッセージ）

**原　因**：プリンタ内部に用紙が残っている

**処　置**：残っていた用紙が自動排出されます。

## 1C ソウシンチュウ：セントロ／USB／EXP　(警告メッセージ)

**原因 1** ：双方向に対応していないパソコンと接続しているのにメニューの双方向の設定が「ツカウ」になっている

**処　置** ：メニューの双方向の設定を「ツカワナイ」にしてください。

参照先　：「インタフェースグループの設定項目」（→ LIPS 機能ガイド）

**原因 2** ：双方向通信機能を使ってプリンタからパソコンへデータを送信したときに、パソコン側がデータの処理中でデータを受信できる状態になっていなかった

**処　置** ：一定時間後に自動的に送信データを消去し、メッセージが消えます。

## 21 プリント オーバーラン　<エラースキップ可>

**原　因** ：データが複雑すぎて処理が間に合わなかった（オーバーランした）

**処置 1** ：解像度の設定がファインのときはクイックに変更し、プリントしなおします。解像度の設定はプリンタドライバで行います。

参照先　：LIPS ソフトウェアガイド

**処置 2** ：処置 1 の処置をしてもエラーが発生する場合は、セットアップメニューで、バンド制御を「シナイ」に設定し、データを送りなおします。

**処置 3** ：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

参照先　：「印字調整グループの設定項目」（→ LIPS 機能ガイド）

## 23 ダウンロードメモリフル <エラースキップ可>

**原　因** ：オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

**処置 1** ：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

**処置 2** ：[リセット] を押してソフトリセットした後、次のような方法で空きRAM容量を増加し、データを登録しなおしてプリントします。

・ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください）

・セットアップメニューで、印字動作を「トウロク　ユウセン」に設定してからハードリセットする

・セットアップメニューで、フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする

・オプションの拡張RAMを取り付ける

参照先 ：「電源のオン、オフ」（→P.2-4）
「オプションについて」（→設置ガイド）
「印字調整グループの設定項目」（→LIPS機能ガイド）

## 26 システムメモリ フル <エラースキップ可>

**原　因** ：システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

**処置 1** ：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

**処置 2** ：オプションの拡張RAMを取り付けてプリントします。

参照先 ：「RAM/ROM」（→設置ガイド）

## 27 ジョブカイシ フカノウ <エラースキップ可>

**原　因** ：指定したエミュレーションが存在しない

**処　置** ：[オンライン] を押し、プリントをスキップします。そのプリントジョブは無視され、次のプリントができるようになります。

## 28 ビョウガメモリ フル　　<エラースキップ可>

**原　因**：描画メモリが不足して処理ができなかった

**処置 1**：[オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

**処置 2**：[リセット］を押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントしなおします。

**処置 3**：処置 2 を行っても必要な描画メモリが確保できないときは、次のような方法で空き RAM 容量を増加します。

・ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）

・セットアップメニューで、フォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする

・オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　：「電源のオン、オフ」（→ P.2-4）
「オプションについて」（→設置ガイド）
「印字調整グループの設定項目」（→ LIPS 機能ガイド）

## 30 メモリ フル　　<エラースキップ可>

**原因 1** ：システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

**処　置** ：[オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

**原因 2** ：（電源のオン時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（拡張RAMが取り外された）ために NVRAMに設定されているメモリの容量を確保できなかった

**処置 1** ：[オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しくプリントされないことがあります。

重要
- 「30　メモリ　フル」が発生した時点で、NVRAMのメモリの構成が確保可能な値*に書き換えられます。（*：印字動作、フォームキャッシュメモリ、rip once（リップワンス）は工場出荷時の値に戻ります。）

参照先　：「印字調整グループの設定項目」（→ LIPS機能ガイド）

**処置 2** ：電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して（取り外した RAMを取り付けて）プリントしなおします。

参照先　：「電源をオフにする」（→ P.2-5）
「RAM/ROM」（→設置ガイド）

**処置 3** ：フォームキャッシュメモリを設定しなおしてからハードリセットし、プリントしなおします。

参照先　：「印字調整グループの設定項目」（→ LIPS機能ガイド）

## 33 ワークメモリ フル　　<エラースキップ可>

**原　因**：ワークメモリが確保できない

**処置1**：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

重要
- [オンライン] を押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータが削除されることがありますのでご注意ください。
- 「33　ワークメモリ　フル」が発生した時点で、フォームキャッシュメモリの設定が工場出荷値に戻ることがあります。設定を確認して、プリントしなおしてください。

**処置2**：[リセット] を押してソフトリセットした後、次のような方法でRAMの空き容量を増加し、プリントしなおします。
- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください）
- セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してハードリセットする
- オプションの拡張RAMを取り付ける

参照先：「電源のオン、オフ」（→P.2-4）
「オプションについて」（→設置ガイド）
「印字調整グループの設定項目」（→LIPS機能ガイド）

## 38 ガシツ テイカ　　<エラースキップ可>

**原　因**：データが複雑すぎてファインモードで処理できない

**処置1**：[オンライン] を押し、プリントを継続します。ただし、解像度を下げてプリントします。

**処置2**：[リセット] を押してソフトリセットした後、解像度モードを下げてプリントしなおします。

**処置3**：ファインモードでプリントしたいときは、[リセット] を押してソフトリセットした後、次のような方法で空きRAM容量を増加します。
- セットアップメニューで、印字動作を「ガシツ ユウセン」に設定してからハードリセットする
- セットアップメニューでフォームキャッシュメモリを「ツカワナイ」に設定してからハードリセットする
- オプションの拡張RAMを取り付ける

参照先：「印字調整グループの設定項目」（→LIPS機能ガイド）
「RAM/ROM」（→設置ガイド）

## 40 ツウシン エラー　　<エラースキップ可>

**原　因**：パソコンと本プリンタとのデータのやりとりでエラーが発生した

**処置1**：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

**処置2**：インタフェースケーブルの接続を確認し、プリントしなおします。
参照先　：「パソコンと接続する」（→設置ガイド）

## 41 プリント チェック　　<エラースキップ可>

**原因1**：プリンタ内部に一時的なエラーが発生した

**処　置**：［オンライン］を押し、プリントを継続します。エラーが発生したページからプリントしなおします。

**原因2**：給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙のサイズと、給紙カセットの用紙サイズ表示、トレイ用紙サイズの設定が違っている

**処　置**：カセット給紙時はカセットの用紙サイズ表示とセットした用紙のサイズ、トレイ給紙時はトレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズを合わせ、［オンライン］を押してください。エラーが発生したページからプリントを継続します。また、用紙のサイズが違っていても［オンライン］を押して強制的にプリントすることができます。
参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→P.3-14）
プリンタドライバのヘルプ

## 42 インタフェース：2エラー

**原　因**：オプションのプリントサーバに重度の障害が発生した

**処　置**：電源をオフにした後、オプションのプリントサーバの取り付けをチェックし、電源を入れなおします。

重要　• 上記の操作をしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
参照先　：オプションのプリントサーバの取扱説明書

## 43 インタフェース：2エラー <エラースキップ可>

**原因1** ：オプションのプリントサーバに軽度の障害が発生した

**処　置** ：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

**原因2** ：リセット処理により、オプションのプリントサーバの通信が切断された

**処　置** ：［オンライン］を押します。

## 52 イメージモード フカ

**原　因** ：イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した

**処置1** ：［オンライン］を押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

**処置2** ：イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントしなおします。



## 52 ヌリツブシメイレイ フカ <エラースキップ可>

**原　因** ：イメージモードでプリント中に、塗り潰し命令を受信した

**重要**
- このメッセージは、解像度を「ファイン」、階調処理を「コウカイチョウ」に設定した場合のみ表示されます。

**処置1** ：［オンライン］を押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

**処置2** ：［リセット］を押してソフトリセットした後、セットアップメニューの解像度をクイックモードに設定し、プリントしなおします。

参照先 ：「プリント画質について」（→P.2-10）

**処置3** ：［リセット］を押してソフトリセットした後、セットアップメニューの階調処理を「ヒョウジュン」に設定し、プリントしなおします。

## 53 パケットエラー　<エラースキップ可>

**原　因**：プリントデータ受信中にデータを認識できなくなった

**処置1**：[オンライン] を押すと、そのプリントデータを無視して、次のプリントを開始します。

**処置2**：本プリンタをネットワークに接続しているときは、ネットワーク上のすべてのパソコンをチェックし、プリンタドライバを本プリンタ対応にアップデートします。

参照先：LIPSソフトウェアガイド

## 5F-50 サービス コール

**原　因**：プリンタ本体にトラブルが発生した

**処　置**：ディスプレイに表示されている4桁の英数字を書きとめた後、電源をオフにして電源コードを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

## 5F-55 サービス コール

**原　因**：定着ユニットにトラブルが発生した

**処　置**：ディスプレイに表示されている4桁の英数字を書きとめた後、電源をオフにして電源コードを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

## 5F-nn サービス コール（nnには2桁の英数字）

**原　因**：プリンタ内部に結露が発生した

**処　置**：本プリンタを設置してある環境に2時間以上放置して、周囲の温度や湿度に慣らしてください。

**重要**
- 上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイに表示されている4桁の英数字を書きとめた後、電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

## F2 フォント ミジッソウ　<エラースキップ可>

**原　因**：オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた

**処置 1**：メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントしなおします。

**処置 2**：［オンライン］を押すと、間引き描画でプリントを継続します。

## F9-nn チェック プリンタ（nnには 2 桁の英数字）

**原　因**：プリントデータ処理中にトラブルが発生した

**処　置**：電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってから電源を入れてプリントしなおします。

**重要**
- 上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイに表示されている 4桁の英数字を書きとめた後、電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。

## FF フォント フル　<エラースキップ可>

**原　因**：登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした

**処置 1**：［オンライン］を押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

**処置 2**：LIPS のコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントしなおします。

参照先　：プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」

## OF オプション ゴソウサ

**原因 1** ：ペーパーフィーダが正しく接続されていない

**処　置** ：プリンタの電源をオフにし、ペーパーフィーダを正しく取り付けます。

参照先 ：「ペーパーフィーダ」（→設置ガイド）

**原因 2** ：プリンタの電源を入れたまま、ペーパーフィーダを取り外した

**処　置** ：プリンタの電源をオフにし、ペーパーフィーダの取り外しまたは取り付けを正しく行ってから、電源を入れなおします。

参照先 ：「ペーパーフィーダ」（→設置ガイド）

**原因 3** ：ペーパーフィーダ接続部の接触不良が起きている

**処　置** ：電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

## PC XXX ヨウシ　ニ　コウカン（XXX は用紙サイズまたは略号→P.1-7）<エラースキップ可>

**原　因** ：選択されている給紙元にセットされている用紙のサイズがアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと違っている、または、拡大／縮小プリント中に、設定した出力用紙サイズに合った用紙がセットされていない

**処置 1** ：［給紙選択］で、サイズの合った用紙がセットされている給紙元を選択してください。

参照先 ：「給紙元の選択」（→P.3-11）

**処置 2** ：選択されている給紙元の用紙をアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズの用紙に交換してください。

参照先 ：「給紙カセットからプリントする」（→P.3-14）
「給紙元の選択」（→P.3-11）

**処置 3** ：プリンタ側の設定（給紙カセットの場合は用紙サイズ表示、給紙トレイの場合はトレイ用紙サイズ）を確認し、アプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定してください。

参照先 ：「給紙グループの設定項目」（→LIPS機能ガイド）

**処置 4** ：［オンライン］を押し、セットされている用紙に強制的にプリントしてください。給紙トレイの場合、トレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

## nn-nn サービス コール（nnには2桁の英数字）

**原　因**：プリンタの内部機構にトラブルが発生した

**処　置**：電源をいったんオフにし、3秒以上待ってから電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

**重要**

- 上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイに表示されている4桁の英数字を書きとめた後、電源をオフにし、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状および書きとめた英数字をお知らせください。
- 「5F-51　サービス　コール」と表示された場合
  プリンタ内部に結露が発生すると、「5F-51　サービス　コール」が表示される場合があります。この場合は、本プリンタを設置してある環境に2時間以上放置して、周囲の温度や湿度に慣らしてください。結露が発生したときの処置や結露しやすい設置環境については、「設置環境」（→設置ガイド）をご覧ください。

# 正しいプリント結果が得られないときは

本プリンタの使用中に、トラブルかなと思われるような症状が起ったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要
- ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージが表示されたときは」（→P.5-12）をご覧ください。
- ここに記載されていない症状が起きたときや、記載されている処置を行っても直らないとき、原因がどうしてもわからないときは、キヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

## 電源やプリンタ動作のトラブル

### 電源が入らない

**原因 1**：電源コードのプラグが電源コンセントから抜けている

**処　置**：電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

**原因 2**：ブレーカーが落ちている

**処　置**：配電盤のブレーカーをオンにします。

## プリンタが動かない

**原因1** ：オフラインになっている

**処　置** ：［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。
参照先 ：「オンラインとオフライン」（→P.2-6）

**原因2** ：メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

**処　置** ：［オンライン］を押してオフラインにし、［排出］を押してメモリ内に残っているデータを出力します。
参照先 ：「データを排出する（強制排出）」（→P.2-12）

**原因3** ：インタフェースケーブルが外れている

**処　置** ：インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタのインタフェース接続部にしっかりと接続します。
参照先 ：「パソコンと接続する」（→設置ガイド）

**原因4** ：本プリンタやオプション装置に故障がある

**処　置** ：ディスプレイのメッセージを見て、処置します。
参照先 ：「メッセージが表示されたときは」（→P.5-12）

## 操作パネルのランプがつかない

**原因1** ：電源がオンになっていない

**処　置** ：電源をオンにしてください。

**原因2** ：スリープモードになっている

**処　置** ：プリントデータを送るか、操作パネルのキーのどれかを押すとプリント可能な状態に戻ります。
参照先 ：「オンラインとオフライン」（→P.2-6）

### 操作パネルのスイッチが機能しない

**原因1**：オンラインになっている

**処　置**：［オンライン］を押し、オフライン状態にします。
参照先　：「オンラインとオフライン」（→P.2-6）

**原因2**：メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）

**処　置**：［オンライン］を押してオフラインにし、［排出］を押します。
参照先　：「データを排出する（強制排出）」（→P.2-12）

## プリント結果のトラブル

### 用紙の角が折れたりしわがよる

**原因 1** ：給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

**処　置** ：給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。
参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-14）

**原因 2** ：給紙トレイに用紙を斜めにセットした

**処　置** ：給紙トレイにまっすぐに用紙をセットしてください。
参照先　：「給紙トレイからプリントする」（→ P.3-19）

**原因 3** ：湿っている用紙を使用している

**処　置** ：乾いた用紙と交換してください。

### 給紙カセットやオプションのペーパーフィーダから給紙した場合に、画像が左側に片寄ってプリントされる、または斜めに傾いてプリントされる

**原　因** ：給紙カセットやオプションのペーパーフィーダの用紙ガイドが正しくセットされていない

**処　置** ：用紙ガイドを正しくセットしなおして、再度プリントしてください。
参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→ P.3-14）

### 用紙がカールする

**原因 1** ：用紙が適切でない

**処　置** ：本プリンタで使用できる用紙と交換してください。
参照先　：「用紙について」（→ P.3-2）

**原因 2** ：用紙のプリント面が上向きにセットされている

**処　置** ：用紙のプリント面を下向き（表と裏を逆）にセットしなおして、プリントしてください。

**原因 3** ：定着モードが用紙に合っていない

**処　置** ：プリンタドライバの用紙タイプを「普通紙 L」に設定、プリントしてください。
参照先　：プリンタドライバのヘルプ

## 意味不明の半角文字がプリントされる

**原　因**：付属の Windows 用プリンタドライバを組み込まずにWindows からプリントした

**処　置**：付属のWindows用プリンタドライバを組み込み、プリントしなおしてください。

参照先　：「ソフトウェアをインストールする」（→P.2-2）
LIPSソフトウェアガイド

## 指定した書体と違う書体で印字される

**原　因**：Windows 用プリンタドライバでTrueType フォントの置き換えが設定されている

**処　置**：Windows用プリンタドライバでTrue Typeフォントの置き換えを正しく設定しなおし、プリントしなおしてください。

参照先　：プリンタドライバのヘルプ

## 最後のページがプリントできない

**原　因**：データの終わりを表すコマンドが来ない（ジョブランプが点灯している）

**処　置**：[オンライン］を押してオフラインの状態にし、[排出］を押します。（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが1ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます。）

参照先　：「データを排出する（強制排出）」（→P.2-12）

## データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

**原因1**：データのサイズより小さな用紙をセットした

**処　置**：データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。

参照先　：プリンタドライバのヘルプ

**原因2**：用紙をセットする位置が合っていない

**処　置**：用紙を正しくセットし、プリントしなおしてください。

参照先　：「給紙カセットからプリントする」（→P.3-14）
「給紙トレイからプリントする」（→P.3-19）

**原因3**：余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした

**処　置**：データの周囲に5mm以上（封筒は10mm以上）の余白を取ってプリントしなおしてください。（用紙の周囲5mm（封筒は10mm）の範囲にはプリントできません。）

参照先　：「用紙について」（→P.3-2）
アプリケーションソフトのマニュアル

## ページの途中から次ページにわかれてプリントされる

**原　因**：アプリケーションソフトの「行間」や「1ページの行数」の設定が合っていない

**処　置**：1ページに収まるようにアプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1ページの行数」を変更してからプリントしなおします。

参照先　：アプリケーションソフトのマニュアル

## 縮小されてプリントされる

**原　因**：縮小プリントの設定がされている

**処　置**：プリンタドライバやアプリケーションの印刷縮小印刷設定を解除してください。

参照先　：プリンタドライバのヘルプ

## 印字位置がずれてしまう

**原因 1** ：プリンタドライバで［とじ方向］の「とじ代」が設定されている

**処　置** ：プリンタドライバで［とじ方向］の「とじ代」の設定を「0」に設定し、プリントしなおします。

参照先 ：(→プリンタドライバのヘルプ)

**原因 2** ：アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない

**処　置** ：アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントしなおしてください。

参照先 ：アプリケーションソフトのマニュアル

# 印字品質のトラブル

## 印字がかすれる（白く抜ける）

**原　因**：トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない（片寄っている）

**処　置**：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に5〜6回、上下に5〜6回振ってトナーをならしてセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。

参照先　：「トナーカートリッジを交換する」（→P.4-2）

## 白いすじが入る

**原因1**：トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない

**処　置**：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に5〜6回、上下に5〜6回振ってトナーをならしてセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。

参照先　：「トナーカートリッジを交換する」（→P.4-2）

**原因2**：トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

**処　置**：新しいトナーカートリッジに交換してください。

参照先　：「トナーカートリッジを交換する」（→P.4-2）

## 印字が全体的にうすい、濃い

**原因1**：トナー濃度の設定が適当でない

**処　置**：セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー濃度を調節してください。

参照先　：「印字濃度を調整する」（→P.4-18）

**原因2**：プリンタドライバで［トナー節約モード］が［使う］に設定されている

**処　置**：プリンタドライバで［トナー節約モード］を［使わない］に設定してください。

参照先　：プリンタドライバのヘルプ

## 印字ムラが出る

**原因 1** ：トナーカートリッジの寿命がきている

**処　置** ：トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり5～6回振ってトナーをならしてセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換します。

参照先　：「トナーカートリッジを交換する」（→P.4-2）

**原因 2** ：トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

**処　置** ：新しいトナーカートリッジに交換してください。

参照先　：「トナーカートリッジを交換する」（→P.4-2）

**原因 3** ：用紙が湿っている、あるいは乾燥している

**処　置** ：適切な用紙に交換してください。

参照先　：「用紙について」（→P.3-2）

## ファインモードでプリント時に画像が粗くなった、または正しくプリントできなかった

**原　因** ：データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった

**処　置** ：エラーメッセージ「38 ガシツ テイカ」（→P.5-20）を参照してください。

## プリントした用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

**原　因** ：定着ローラが汚れている

**処　置** ：定着ローラを清掃してください。

参照先　：「定着ローラの清掃」（→P.4-16）

## 黒いすじが連続で何枚にもわたって入る

**原　因** ：トナーカートリッジの寿命がきている

**処　置** ：新しいトナーカートリッジに交換してください。

参照先　：「トナーカートリッジを交換する」（→P.4-2）

# プリンタの機能を確認したいときは

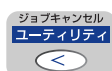
本プリンタは、メニューの設定値などを確認できるステータスプリントの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終わった後やプリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

## ステータスプリント

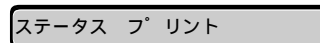
ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などがプリントされます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

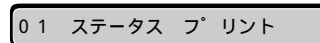


**1 ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。**

操作パネルで設定できる状態になります。

**2 ［ユーティリティ］を押します。**

**ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。**

**3 ［∨］を押します。**

ステータス　プ゜リント　→

**ディスプレイに「01 ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントを開始します。**

01　ステータス　プ゜リント　→

## ステータスプリントのプリント内容

ステータスプリントを行うと、下図のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能や、プリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

Canon STATUS PRINT LASER SHOT LBP-1510



バージョン : R1.03/OGO0L06I
サブバージョン : 15.00/2EI-4113-C410-66.7-100/34/00
エンジンバージョン : BIW/001c

全体メモリ搭載状況 : 8 ( 8 MB + 0 MB )
空きメモリ量 : 463 Kbytes
給紙モード : 自動

拡張機能グループ
コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
スリープ モード : 15分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語

給紙グループ
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択／トレイ : 使う
自動選択／カセット1 : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称／トレイ :
用紙名称／カセット1 :

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP

レイアウトグループ
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
中間調選択 : パターン1
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動
階調処理 : 標準

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LASER SHOT LBP-1510
Description : Canon LASER SHOT LBP-1510
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS Ver.01.23 LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2609
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0003779

# 付録

6
CHAPTER

ここでは、本書の索引や用語集、本プリンタの仕様、アフターサービスについてまとめています。

# おもな仕様

## ハードウェアの仕様

<table>
<tr><td colspan="2">形式</td><td>デスクトップ型ページプリンタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリント方式</td><td>電子写真方式（ローラー定着）</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリント速度</td><td>16*枚／分（A4, 横送り, 300/600dpi）<br>*注：プリント速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、プリント枚数の設定により遅くなることがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウォーミングアップ時間</td><td>30秒以下（20℃, 拡張RAM 未装着時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファーストプリント時間</td><td>約11*秒（A4,横送り, 300/600dpi, 20℃, カセット給紙/フェースダウン排紙）<br>*注：ファーストプリント時間は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、定着モードの設定により遅くなることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙サイズ</td><td>250枚カセット（標準・オプション）</td><td>A3、B4、A4、A4R、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ<br>最大積載枚数：約250枚（64g/$m^2$）</td></tr>
<tr><td>トレイ</td><td>幅：76.2～297mm　長さ：98～431.8mm<br>最大積載枚数：約100枚（64g/$m^2$）</td></tr>
<tr><td colspan="2">排紙方式</td><td>フェースダウン</td></tr>
<tr><td colspan="2">排紙積載枚数</td><td>フェースダウン排紙トレイ　約250枚（64g/$m^2$）</td></tr>
<tr><td colspan="2">稼働音音圧レベル（プリンタ本体のみ）（バイスタンダ位置）（ISO9296に基づく公表騒音放出値）</td><td>スタンバイ中（600dpi）最大　38dB[A]<br>動作中（600dpi）　最大　53dB[A]</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用環境（プリンタ本体のみ）</td><td>動作環境温度 7.5～32.5℃<br>湿度　5～90%RH（結露しないこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">保管環境（プリンタ本体のみ）</td><td>保管環境温度 0～35.0℃<br>湿度　5～95%RH（結露しないこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>AC100V±10%（50 / 60Hz±2Hz）</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力（20℃時）</td><td>動作時　平均約409W*<br>スタンバイ時　平均約118W*<br>スリープモード時　約14.4W 以下*<br>最大　830W以下**<br>*注：本体標準状態での値です。<br>**注：フルオプション装着時／起動時の瞬間的なピークを除いた値です。</td></tr>
</table>

| 質量 | プリンタ本体（250枚給紙カセット含む）　約15kg<br>250枚給紙カセット　約1.5kg<br>EP-65カートリッジ　約2kg<br>250枚ペーパーフィーダ*（250枚給紙カセット含む）　約5kg<br>*印の製品は、別売のオプションです。 |
|---|---|

## コントローラの仕様

| CPU | PowerPC 603ei（100MHz） |
|---|---|
| メモリ（RAM）容量 | 標準8 MB<br>オプションの拡張RAMにより、最大136MBまで拡張可能 |
| ホストインタフェース | パラレルコネクタ（セントロニクス準拠／双方向）×1個<br>USBコネクタ（V1.0スレーブのみ）×1個<br>拡張ボードスロット×1個 |
| ユーザインタフェース | ディスプレイ16桁×1段<br>ランプ9個<br>操作キー 7個 |
| RAMスロット | 1個 |

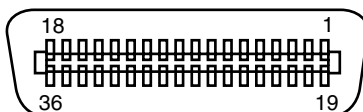
## ソフトウェアの仕様

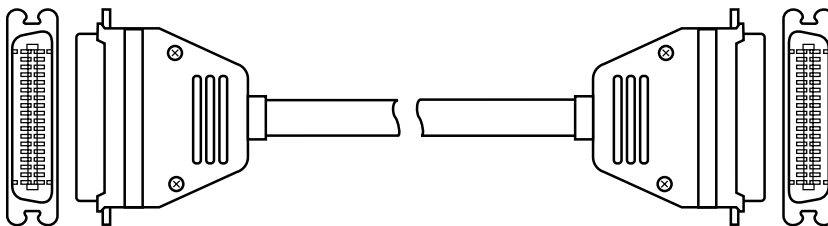
| 内蔵コントロールコマンド | LIPS IVs |
|---|---|
| 有効印字領域 | 上下左右とも周囲5mm（封筒は10mm）の範囲には印字できません。 |

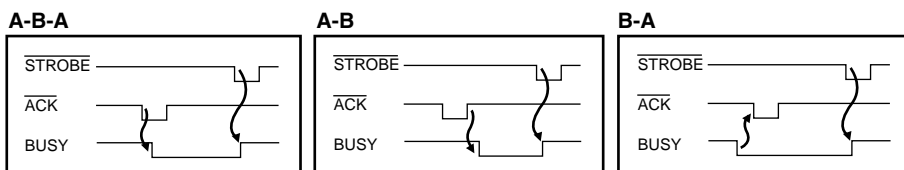
# インタフェース仕様

## パラレルインタフェース（セントロニクス準拠）

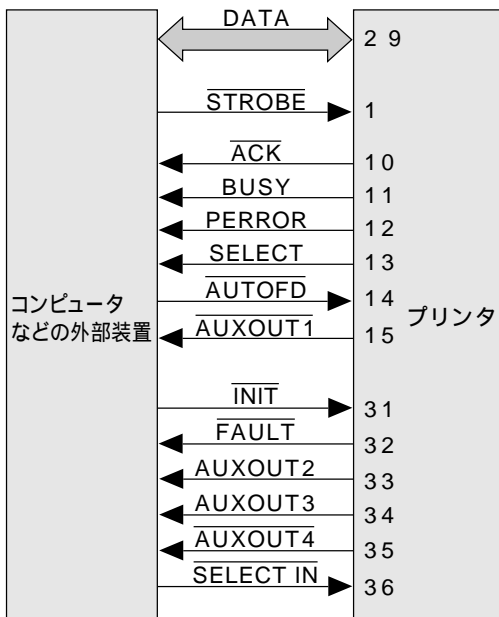
### 信号線とピン配置

| ピン番号 | 信　号 | ピン番号 | 信　号 |
|---|---|---|---|
| 1 | STROBE | 19 | GND (STROBE) |
| 2 | DATA0 | 20 | GND (DATA0) |
| 3 | DATA1 | 21 | GND (DATA1) |
| 4 | DATA2 | 22 | GND (DATA2) |
| 5 | DATA3 | 23 | GND (DATA3) |
| 6 | DATA4 | 24 | GND (DATA4) |
| 7 | DATA5 | 25 | GND (DATA5) |
| 8 | DATA6 | 26 | GND (DATA6) |
| 9 | DATA7 | 27 | GND (DATA7) |
| 10 | ACK | 28 | GND (PERROR, SELECT, ACK) |
| 11 | BUSY | 29 | GND (BUSY, FAULT) |
| 12 | PERROR | 30 | GND (AUTOFD, SELECT IN, INIT) |
| 13 | SELECT | 31 | INIT |
| 14 | AUTOFD | 32 | FAULT |
| 15 | AUXOUT1 | 33 | AUXOUT2 |
| 16 | Logic GND | 34 | AUXOUT3 |
| 17 | Chassis GND | 35 | AUXOUT4 |
| 18 | Peripheral Logic High | 36 | SELECT IN |

メモ
- 「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

## コネクタおよびケーブル

コネクタ：第一電子工業　57FE-30360または相当品。
ケーブル：シールドケーブル（最長 3m)。

## タイミングチャート

メモ
• タイミングはメニュー機能の「拡張機能／インタフェースグループ」で変更します。(→LIPS 機能ガイド)

## 結線図

# 用語集

■ **EP-65カートリッジ**

キヤノン独自の、トナー、感光体ドラム、クリーニングユニットを一体にしたカートリッジです。トナーが無くなったら他のユニットも一緒に交換するため、常に安定した高印字品質を維持できます。また、交換作業も非常に簡単です。EP-65は、A4原稿（印字比率：約5%、濃度：工場出荷時の初期値）で約10,000枚プリント可能です。

■ **LIPS**

LIPSとは、キヤノンの日本語プリンタ用に開発されたコントロールコマンドです。LIPS II、LIPS II+、LIPS III、LIPS IV、LIPS IVc、LIPS IVsの6種類があり、LIPS IV、LIPS IVcはLIPS IIIの機能を拡張したもので、フルカラープリントにも対応しています。本プリンタはLIPS IVsに対応しています。LIPS IVsはWindowsおよびMacintosh専用のコントロールコマンドです。

■ **MaxiMem（マキシメム）**

高精細プリントを最大限に引き出す、キヤノン独自のメモリ効率化機能です。

■ **NetSpot**

NetSpotは、パソコン側から本プリンタを設定したり、プリントを管理したりするためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてパソコンにインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド）

■ **NetSpot Job Monitor**

NetSpot Job Monitorは、パソコン側でプリンタの状態をリアルタイムで表示するためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてパソコンにインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド）

■ **NVRAM**

NVRAMとは、Non-Volatile Random Access Memoryの略で、電源を切っても内容が保存される、読み書き可能なメモリのことです。本プリンタではメニュー機能の設定内容を保存するために用いられており、常に最新の設定内容が保存できるようになっています。

■ **RAM**

RAMとは「Random Access Memory」の略で、読み書き可能なメモリですが、電源を切ると登録した内容が消えてしまいます。本プリンタでは、システムワークメモリや受信バッファに使っています。また、本プリンタのメモリ容量を増加するために、オプションの拡張RAMが用意されています。

### ■ USB コネクタ

USBとは「Universal Serial Bus」の略で、パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。Windows98パソコンやMacintoshパソコンのプリンタ接続やキーボード接続、マウス接続などに利用されています。

### ■ オフライン

パソコンとプリンタ間の回線が切断され、パソコンからのプリントデータを受信できない状態をいいます。用紙の選択やメニュー機能を使うときは必ずオフラインの状態にします。オフライン状態では、操作パネルのオンラインランプは消灯しています。
(→「オンラインとオフライン」P.2-6）

### ■ オンライン

パソコンとプリンタ間の回線がつながって、パソコンからのプリントデータを受信できる状態をいいます。プリントは必ずオンラインの状態で行います。用紙の選択やメニュー機能は設定できません。オンライン状態では、操作パネルのオンラインランプが点灯しています。
(→「オンラインとオフライン」P.2-6）

### ■ オーバレイ

２ページ分のデータを重ね合わせて1ページの書類としてプリントすることをいいます。本プリンタには、オーバレイ用のメモリ領域が用意されています。このメモリにあらかじめ重ね合わせてプリントしたいデータを登録しておくことで、プリント時に重ね合わせることができます。各種の帳票を多量にプリントするときなど、まず帳票のフォーマットデータを登録しておけば、後から数値などのデータを送るだけでスピーディーにプリントすることができます。
(→プリンタドライバのヘルプ、LIPS機能ガイド）

### ■ 拡張RAM

プリンタのメモリを増設するためのオプションです。最大128MB分まで増設でき、標準で8MBのメモリを最大136MBまで拡張できます。拡張RAMを装着すると、システムワークメモリや受信バッファ、描画メモリ容量を増し、ファインモードでプリント可能な用紙サイズを拡大します。
(→設置ガイド）
(→受信バッファ、システムワークメモリ、描画メモリ）

### ■ クリーニング用紙

定着ローラを清掃するための用紙です。プリントした用紙が黒点状に汚れるときは、クリーニング用紙をプリントして、定着ローラの清掃を行います。
(→定着ローラを清掃する：P.4-15 ）

### ■ コントロールコマンド

ページにプリントする文字や罫線、網かけ、図形、イメージなどのデータ、および印字位置や印字方法など、どこに何をどのようにプリントするかをプリンタに指示するための命令です。本プリンタは、キヤノン独自のLIPS IVsのコントロールコマンドを内蔵しています。
(→LIPS）

### ■ システムワークメモリ

主に多角形描画などの図形処理のときにシステムが使用するメモリです。工場出荷時の状態では、搭載されているメモリ容量に応じて自動的に確保されます。取り付けられている拡張 RAM や印字動作／フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。
(→拡張RAM、描画メモリ、受信バッファ、フォームキャッシュメモリ)

### ■ 受信バッファ

パソコンから送られたプリントデータを一時的に保存しておくためのメモリです。受信バッファのサイズを大きくすると、一度にたくさんのプリントデータを保存しておくことができるようになり、パソコン側で印刷処理から解放される時間が早くなります。取り付けられている拡張 RAM や印字動作／フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。
(→拡張RAM、描画メモリ、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリ)

### ■ ジョブ

パソコンから送られ、プリンタ内でひとまとまりとして管理、処理されるデータの単位を表します。データの送られてくるインタフェースやプロトコルごとに区別して管理されます。従来機用のプリンタドライバなどを使用してデータを送信した場合は、ジョブタイムアウトまでデータの終了を認識できないことがあります。

### ■ スーパースムージングテクノロジー

キヤノン独自のイメージ処理技術で、文字や図形の輪郭部のギザギザを自動的に検知してスムージング処理を行います。本プリンタのレーザビームの走査線密度はクイックモードで300dpi、ファインモードで600dpiですが、スーパースムージングテクノロジーで、クイックモード時1200dpi相当×600dpi、ファインモード時2400dpi相当×600dpiの高品位印字を実現しています。

### ■ スケーラブルフォント

文字を外郭の曲線や直線を数式で記録し、数値を変えることで文字を拡大・縮小したり変形できるタイプのフォントです。輪郭線で文字を表すため、拡大しても曲線部分がギザギザになりません。本プリンタでは、パソコンから送られたフォントデータを使ってプリントを行います。

### ■ セントロニクス

パソコンと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。パソコンで扱っている16ビットや32ビットのデータを、8本の線を使い、8ビットずつ同時に伝送します。シリアルインタフェースに比べて高速なデータ伝送が可能ですが、ケーブル長の限界が3m程度に制限されます。現在では、ほとんどのパソコンでプリンタケーブルの規格として採用されています。本プリンタでは、接続しているパソコンからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284対応の双方向通信が可能な方式を採用しています。
(→パラレルインタフェース)
(→設置ガイド)

■ **パラレルインタフェース**

パソコンと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。パソコンで扱っている16ビットや32ビットのデータを、複数の線を使って数ビットずつまとめて（パラレルで）伝送します。データをまとめて送るため高速伝送が可能ですが、ケーブルの線数を多く必要とし、線間の干渉などによる信号ロスも多いため、ケーブルの長さに制限があります。パラレルインタフェースの代表的なもののひとつが「セントロニクス」です。

(→USBコネクタ、セントロニクス）
(→設置ガイド）

■ **ビットマップフォント**

１つの文字を点の集合で表したフォントのことです。ビットマップフォントは拡大率（文字サイズ）に応じてパターンが必要で、拡大率に制限があります。グラフィックセットと、文字ピッチ、文字サイズ、文字スタイル、文字太さ、書体（これらを属性と呼ぶ）の組み合わせ方によっていろいろなフォントになります。

■ **描画メモリ**

プリント時に確保する描画メモリ容量です。描画メモリを確保しておくことで、入力データに依存せずに600dpiの処理が可能になります。確保できる描画メモリは、取り付けられている拡張RAMや印字動作／フォームキャッシュメモリの設定で変わります。

(→LIPS機能ガイド）
(→拡張RAM、受信バッファ、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリ）

■ **ファインモード**

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度600dpiで出力するモードです。

■ **フォームキャッシュメモリ**

オーバレイに使用するフォーム画像を保持するためのメモリ領域です。

(→オーバレイ、拡張RAM、描画メモリ、受信バッファ、システムワークメモリ）

■ **フォント**

印字する文字や数字やシンボルの集合のことをフォントと呼びます。１つのフォントでは文字やシンボルは同じデザインとなっていますが、フォントごとに文字のデザインが異なり、このデザインのことを書体と呼びます。文字を表すデータの違いでビットマップフォントとスケーラブルフォントがあります。

■ **プリンタドライバ**

アプリケーションソフトで作成したデータをプリンタが受け付けるデータに変換するためのソフトウェアです。通常、アプリケーションソフトにプリンタの種類毎にファイルで用意され、接続したプリンタに合わせてアプリケーションソフトに組込んで使用します。お使いのプリンタに対応したプリンタドライバがないと、アプリケーションソフトから正しくプリントできません。本プリンタには、LIPS IVプリンタドライバが付属しており、単にデータの変換だけでなく、プリンタの各種機能の設定ができます。

(→LIPSソフトウェアガイド）

■ **メニュー機能**

本プリンタ の各種機能を設定するための機能です。操作パネルのキーやユーティリティソフト「NetSpot」から設定できます。
(→LIPSソフトウェアガイド、LIPS機能ガイド)

# 索引

## 英数字



## あ



## か



6

付録

6

付録

## さ

## た



## な



## は

## ま



## や

## ら

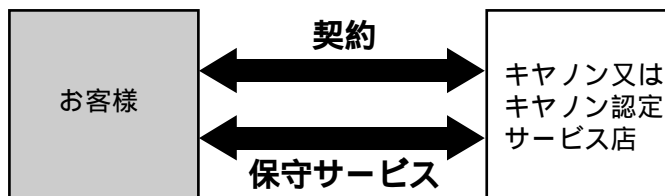
# 設置サービスのご案内

本製品の設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合や、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本製品をお買い求めの販売店などへ依頼してください。

# 保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために
このたびはキヤノン事務機をご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくキヤノン製品の無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

## キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

**精密機器だからこそ保守契約が必要です 。**
ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。
**保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。**
キヤノンの保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

## キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

| 内　　容 | メリット |
|---|---|
| ●定期点検の実施<br>キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。<br>（製品により定期点検回数が異なります。また、一部定期点検を設けていない製品もあります。） | トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。 |
| ●優先サービス<br>万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。 | トラブル時の業務停止時間を最小限に押さえます。 |
| ●保守契約料金は一定<br>保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。 | サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が計れます。 |
| ●修理料金は無料<br>保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料等いっさいを含んでおります。 | 契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。<br>（但し、機種により一部特定部品は有償。天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。） |
| ●スポット料金より割安<br>トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。 | スポット料金より年間維持経費は大巾に割安になります。 |

## 購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。
キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

# 無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。
- 定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、お買い求めの販売店、またはキヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

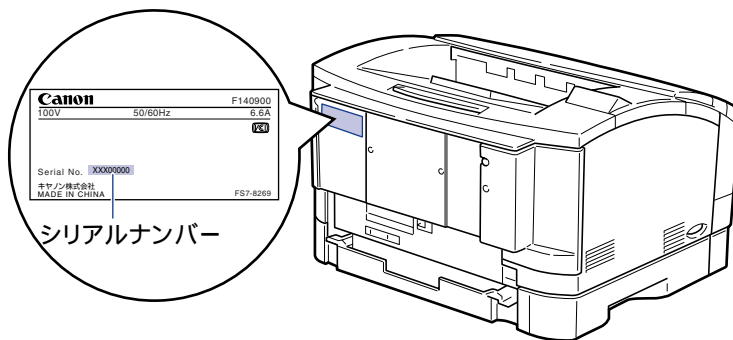
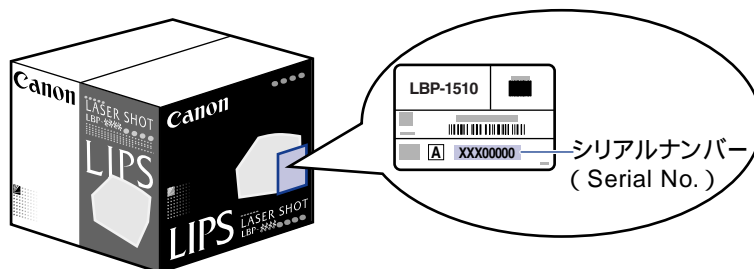
# シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要 • シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

■ 梱包箱外側

6
付録

# ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

## 情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノン販売ホームページ(http://www.canon-sales.co.jp/)**

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

■ **キヤノンＦＡＸ情報サービス**

札幌（011）728-0485　秋田（018）826-0441　仙台（022）211-5730
東京（03）3455-5962　名古屋（052）936-0758　大阪（06）4795-9011
広島（082）240-6729　高松（087）826-1621　福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。

ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。

情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

■ **@nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com)**

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」と入力してください。「電子会議」の「【プリンタ　LASERSHOT】インフォメーション」内に掲載されています。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

## ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **インターネット：キヤノン販売ホームページ(http://www.canon-sales.co.jp/)**

キヤノン販売ホームページよりダウンロードできます。

キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

### ■ @nifty キヤノンステーション(http://www.nifty.com)

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」と入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。NIFTY-Serveの通信料金のみでダウンロードすることができます。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

### ■ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMもしくはFDを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はFAX情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418

口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込人住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDが異なります。

## 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

**消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。**

## 修理サービスのご相談窓口

**修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。**

Canon **キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社**

## 製品取り扱い方法ご相談窓口

**技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。**

**お客様相談センター全国共通電話番号
キヤノンお客様サポートネット** **0570-01-9000**

**音声メッセージに従って該当番号を選択してください。LASER SHOTの該当番号は 42 *1です。**

**全国64ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、(043) 211-9627 をご利用ください。**

**上記窓口の受付時間*2 は以下のとおりです。
月曜～金曜（祝日を除く）：9:00～12:00、13:00～ 18:00、19:00～ 21:00
土、日、祝日（1/1～1/3は休み）：10:00～ 12:00、13:00～ 17:00**

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

PUB. R-IJ-917AA 012001SZXX  PRINTED IN JAPAN